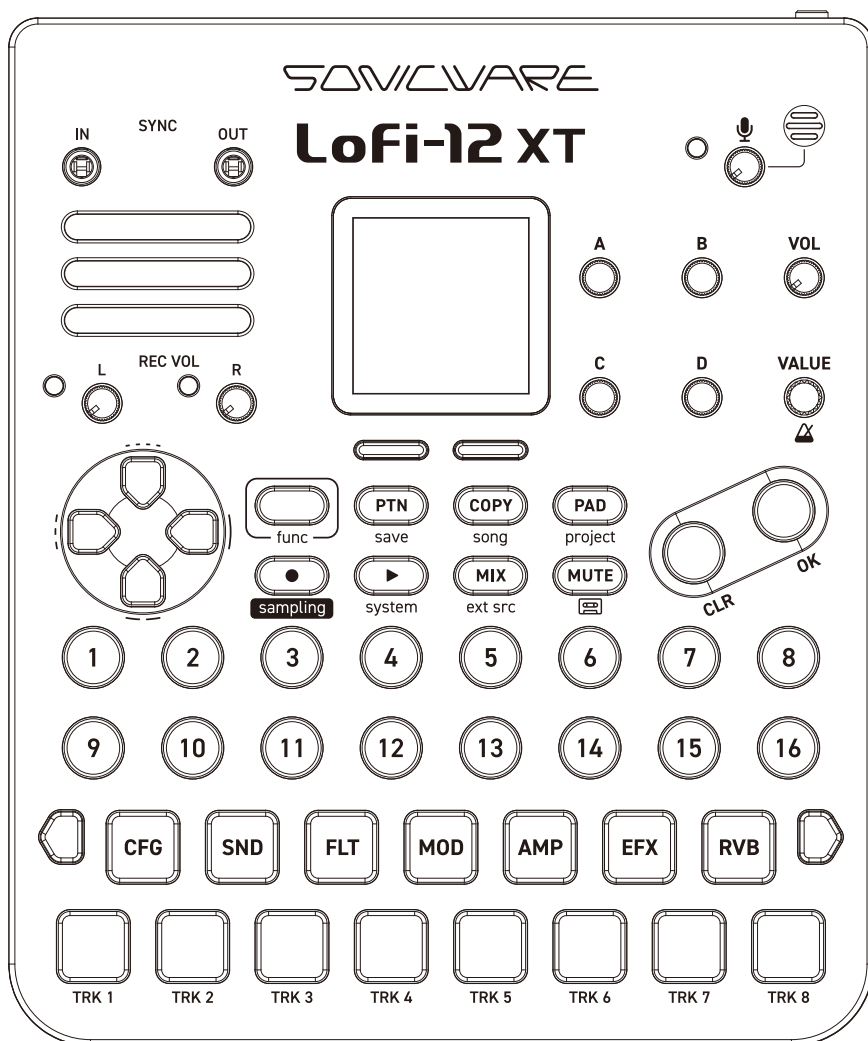


# LoFi-12 XT

## Manual

Rev.5



---

## FCC regulation warning (for USA)

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

## 法的免責事項

株式会社ソニックウェア（以下「SONICWARE」といいます）は、本文書が正確かつ最新のものであることを確保すべく努力致しますが、本文書に掲載されている内容に起因するいかなる賠償要求や損失に対してもその責任を一切負わないものとします。また、本文書の情報は、予告なく変更される可能性があります。SONICWARE は、随時、製品の仕様、プログラムの変更する権利を保有するものとします。SONICWARE は、本文書に示される全ての誤りの責任を負いません。SONICWARE は、契約、不注意、その他の行為に関わらず、本情報の使用または機能、性能から生じるいかなる損害に対しても、責任を負いません。

## 著作権、登録商標について

- ・SONICWARE は株式会社ソニックウェアの登録商標です。
- ・MIDI は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- ・Windows® 10 / Windows® 8 / Windows® 7 / Windows® は Microsoft® 社の商標または登録商標です。
- ・Mac / macOS / iOS / iPad は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- ・本文書内のその他の会社名、製品名、規格名、登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。
- ・本文書内の全ての商標および登録商標は各所有者の著作権を侵害する意図ではなく、識別のみを目的として記載しています。
- ・他の者が著作権を保有する音声ファイル、CD、レコード、ビデオ、テープ、放送、ストリーミング、作品などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。
- ・著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ソニックウェアは一切の責任を負いません。
- ・本製品に内蔵または付属されているコンテンツ（PCM サンプルデータ、オーディオデータ、サウンドおよびパターンプログラムデータ等）は、株式会社ソニックウェアが著作権を所有しているか、ライセンス許諾を得て使用しているものです。

本機で、これらのコンテンツを使用して制作または演奏された音楽作品は、自由に録音や配布を行うことができますが、コンテンツの一部または全部を収録されている形のまま、あるいはフォーマットを変更した形の如何を問わず、第三者へ使用許諾、譲渡、販売、転売、再配布、貸与、賃貸、リース、送信、およびサーバーへのアップロードやサーバーからのダウンロードを可能にすること、本製品の競合製品（実機製品、サンプリングデータ集などを含み、これに限りません）に使用することは固く禁止します。

---

## 安全に関する重要な注意事項

安全にご使用頂き、事故を未然に防ぐために、以下の注意事項を必ずお読みください。

**<警告>この注意事項を守らないと使用者が死亡または重症を負う危険がある内容を示しています。**

- ・ AC アダプターでの動作  
コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。  
雷が発生しているとき、長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- ・ 電池での動作  
市販の 1.5V 単三アルカリ乾電池を使用してください。  
ご使用の電池の注意事項をよくお読みになってください。  
電池の+ / -極を正しく挿入してください。  
新しい電池と古い電池や種類の違う電池を同時に使用しないでください。  
長期間使用しないときは、電池を取り外してください。  
液漏れが発生したら、電池ボックスや端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ・ ケースを開け分解、改造を加えないでください。
- ・ 落としたり、衝撃や無理な力を加えたりしないでください。
- ・ 液体をかけたり入れたりしないでください。
- ・ 異物がケース内に入らないようにしてください。
- ・ 大音量で使用しないでください。聴力損失の原因となりうる大音量が発生する可能性があります。
- ・ 本体を輸送する場合は、購入時の個装箱と緩衝材をご使用ください。
- ・ 本体の電源が入っている間は、布やビニールなどで包まないでください。
- ・ 電源コードが踏まれたり、圧力がかかったりしないようにしてください。
- ・ 下記の環境ではご使用にならないでください。故障の原因になります。  
直射日光のあたる場所、40℃を超える環境、コンロなどの熱源の近く  
温度が極端に低いところや高いところ  
湿度が極端に高いところ、水のかかるところ  
振動の多いところ、砂やほこりの多いところ
- ・ 故障や異常が発生した場合は、すぐに電源を切りご使用をおやめください。

### <使用上の注意>

**この注意事項を守らないと使用者が怪我や物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

- ・ ケーブルを接続するときや本体の電源を操作するときは、接続している各機器の入力レベルを最小にするか電源を OFF にしてください。
- ・ お手入れ  
画面やケースが汚れたときは、柔らかいクロスで力を入れず乾拭きしてください。  
薬品（アルコール、ベンジン、シンナー、クレンザーなど含む）を使用しないでください。  
汚れが落ちない場合は、水で布を少しだけ湿らせよくしぼってから、拭いてください。  
製品が完全に乾くまで電源を入れないでください。

# はじめに

---

このたびは、SONICWARE Lofi-12 XT をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ございます。

Lofi-12 XT は、どんな音でも心地よいローファイ/ ローレゾサウンドに仕立てることができる 8トラックのコンパクト・グローブボックスです。

末永くご愛用ください。

## Lofi-12XT の主な特長

---

- ・ 12/24kHz の初期デジタルサンプリング  
12BIT サンプラー・モード搭載
- ・ 直感的なノンストップ・トラックメイキング  
強力な 8トラックシーケンサー装備
- ・ パワフルなシグナルプロセッシング  
8 × インサートエフェクト、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクト
- ・ 楽々バックグラウンド Mix テープレコーディング
- ・ 他のデバイスとの多彩な接続性
- ・ 2,500 を超える豊富なサンプルライブラリー搭載

## あらゆる場所でサンプリング&ライブパフォーマンス

---

電池駆動&スピーカー、マイクロフォン内蔵なので、いつでもどこでもサンプリング、音楽制作やライブパフォーマンスが行えます。

さらに、スマートフォンや PC/Mac と接続をして、オーディオインターフェイス機能を使うことで、制作した楽曲をすぐにライブ配信できます。

あらゆる場所がアイデア次第で音素材にもステージにもなるでしょう。

## あらゆるデバイスとの同期

---

MIDI 端子 / SYNC 端子に加えて USB 端子と、外部のシンセサイザーやドラムマシン、PCなどを接続し、複数のデバイスを同期させて一緒に使うことが可能です。Liven シリーズや ELZ\_1 play はもちろん、Teenage Engineering 社の PO シリーズとも同期が可能です。

また、入力した SYNC クロック信号から MIDI クロックを生成するなど、種類の異なる端子間でもクロック同期信号をブリッジすることでライブパフォーマンスの中心で活躍することができます。

MIDI CC 機能を使えば、あらゆるパラメーターを外部 MIDI コントローラーや、DAW 上のオートメーションから操作することが可能です。

# 目次

<b>Lofi-12XT の主な特長</b> .....	<b>4</b>	D-pad を使ったロール演奏.....	33
<b>各部の名称</b> .....	<b>8</b>	PAD モードでの演奏 .....	34
<b>接続例</b> .....	<b>10</b>	ホールドして演奏する .....	35
<b>起動と終了</b> .....	<b>11</b>	スケールを変更する .....	37
電源の準備.....	11	<b>サンプルのセットアップ</b> .....	<b>40</b>
起動.....	11	Lofi-12 XT で使用できるサンプルファイル	40
終了.....	11	<b>サンプルファイルの制限事項</b> .....	<b>40</b>
<b>基本操作</b> .....	<b>12</b>	Lofi-12 XT のフォルダ構成 .....	42
全体の音量を調整する.....	12	サンプルスロット .....	42
スピーカー、ヘッドホンの音量を調整する	12	<b>サンプルのセットアップ - サンプリンガー</b>	<b>43</b>
十字キーと OK/CLR ボタンについて .....	12	サンプリング .....	43
コントロールノブ / VALUE ノブ .....	13	録音ソースの設定 .....	44
ファンクションボタン.....	13	サンプリングしたファイルの名前 .....	46
15 パッド .....	14	<b>サンプルのセットアップ - コンバートオーディオ</b>	<b>47</b>
パラメーターパッド .....	14	オーディオファイルのコンバート.....	47
トラックパッド.....	14	対応 WAV フォーマット .....	47
<b>Lofi-12XT のプロジェクト構造</b> .....	<b>15</b>	オーディオファイルをコンバートする .....	48
プロジェクトとは .....	16	<b>サンプルのセットアップ - インポート</b> .....	<b>51</b>
トラックとは .....	16	Lofi-12 XT で使用可能なファイルをインポートする	51
パターンとは .....	16	<b>サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード</b>	<b>52</b>
ソングとは .....	16	サンプルをサンプルスロットにロードする方法	52
<b>パターンの再生と基本機能</b> .....	<b>17</b>	サンプルを選んでサンプルスロットにロードする	53
基本的な画面表示.....	17	TAG SEARCH の基本操作 .....	53
パターンの選択.....	18	サンプルに TAG を付ける .....	56
パターンの再生.....	18	SAMPLE POOL からサンプルを選んでサンプル	
パターン 17 以降の選択.....	18	スロットにロードする.....	57
パターンをリロードする .....	19	SAMPLE POOL の基本操作 .....	58
パターンごとに音量を調節する .....	19	ファイルをサンプルスロットにロードする ..	60
別のプロジェクトのパターンを再生する.....	20	ファイルを削除する .....	60
テンポの変更.....	21	任意のサンプルスロットにサンプルをロードする	61
テンポを変更する .....	22	オーディオファイルのデータベースを更新する	63
スウィングを設定する .....	22	<b>各パラメーターパッドの機能</b> .....	<b>64</b>
メトロノームを設定する .....	22	<b>CFG (Config) ページ</b> .....	<b>64</b>
プリカウントを設定する .....	22	シーケンサーの設定.....	64
MIXER .....	23	シーケンスを拡張コピーする .....	65
ミキサーを編集する .....	23	シーケンスエフェクトを設定する.....	66
<b>マスター FX を編集する</b> .....	<b>24</b>	<b>SND (Sound) ページ</b> .....	<b>67</b>
外部入力機能.....	28	サンプルを編集する .....	67
<b>トラックの操作</b> .....	<b>30</b>	1 SHOT/LOOP 設定と AMP エンベロープ設定の	
トラックを選択してサンプルを変更する .....	30	ON/OFF による再生方法の違い .....	70
トラックをミュートする .....	31	トラックのボイスモードを設定する .....	71
グローバルミュートする .....	32	グライドの設定 (MONO のとき) .....	73

# 目次

アルペジエーターの設定 (POLY のとき)	73	パラメーターロックのクリア	109
スライスモード	74	任意のパラメーターロック情報の一括クリア	109
サンプルをスライスする (MANUAL スライス)	75	<b>パラメーターロック -リアルタイム入カ-</b>	<b>110</b>
サンプルをスライスする (AUTO スライス)	77	リアルタイム入力をする (パラメーター REC)	110
サンプルをスライスする (EVEN スライス)	78	<b>シーケンスの編集</b>	<b>111</b>
スライスのパラメーターを調整する	80	ステップデータを編集する	111
スライス情報をオーディオファイルに保存する	82	MICRO TIMING	112
<b>FLT (Filter) ページ</b>	<b>83</b>	ステップのクリア	115
フィルターを編集する	83	<b>スライスノートを一括でクリアする</b>	<b>115</b>
フィルターのエンベロープを編集する	84	トラック情報をクリアする	115
<b>MOD (Modulation) ページ</b>	<b>85</b>	<b>コピー機能</b>	<b>116</b>
LFO1 と 2 の切替、編集をする	85	トラックの設定を別のトラックにコピーする	116
モジュレーション可能なパラメーター	88	トラックを別のトラックにコピーする	116
<b>AMP ページ</b>	<b>89</b>	ステップをコピーする	116
エンベロープ、パン、ボリュームを編集する	89	<b>パターンの保存と管理</b>	<b>117</b>
センドエフェクトへのセンド量を調整する	91	パターンを保存する	117
<b>EFX (Effect) ページ</b>	<b>92</b>	パターンをクリア (初期化) する	118
エフェクトを設定する	92	パターンをリネームする	119
<b>RVB (Reverb/Delay) ページ</b>	<b>94</b>	パターン内のトラックを編集する	120
Delay と Reverb を編集する	94	トラックをスワップ (入れ替え) する	121
<b>パターンの作成</b>	<b>97</b>	トラックをコピーする	122
<b>ステップシーケンサーの概要</b>	<b>97</b>	トラックを移動する	123
概要	97	トラックをクリア (初期化) する	124
Lofi-12 XT のステップシーケンサーの特長	97	<b>ソングの作成</b>	<b>125</b>
<b>シーケンスの作成 -ステップレコーディング-</b>	<b>99</b>	ソングを再生する	125
基本操作	99	ソングを編集する	126
ステップ 17 以降の選択	100	SONG EDIT の基本操作	127
タイ付きノート (長音) を入力する	101	ソングをリネームする	130
<b>シーケンスの作成 -リアルタイムレコーディング-</b>	<b>102</b>	ソングをクリアする	131
基本操作	102	ソングをコピーする	132
<b>シーケンスの作成 -ダイレクトレコーディング-</b>	<b>103</b>	<b>パターンとソングの書き出し (オーディオエクスポート機能)</b>	<b>133</b>
基本操作	103	パターンのオーディオエクスポート	133
<b>シーケンスの作成 -プレビュー-</b>	<b>104</b>	パターンをオーディオとして書き出す (MIX DOWN)	134
ステップに入力されているノートを確認する	104	パターンのトラックをステムオーディオとして書き出す (INDIVIDUAL TRACKS)	135
シーケンスを途中のステップから再生する (ロケート機能)	105	ソングのオーディオエクスポート	136
<b>シーケンスの作成 -ノートのクリア-</b>	<b>106</b>	ソングをオーディオとして書き出す (MIX DOWN)	137
ノートをクリアする	106	ソングのトラックをステムオーディオとして書き出す (INDIVIDUAL TRACKS)	138
タイノートをクリアする	106	オーディオエクスポートのファイル構造	139
<b>パラメーターロック</b>	<b>107</b>		
<b>パラメーターロック -ダイレクト入カ-</b>	<b>108</b>		
ダイレクト入力をする	108		

# 目次

---

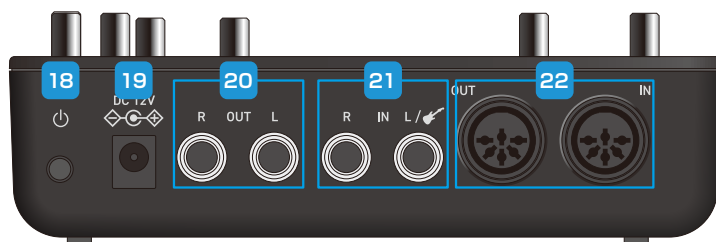
<b>プロジェクトの管理</b> .....	<b>140</b>
新規プロジェクトを作成する .....	140
プロジェクトを保存する .....	141
別のプロジェクトとして保存する .....	142
プロジェクトをリネームする .....	143
プロジェクトを削除する .....	144
<b>MIX TAPE 機能</b> .....	<b>145</b>
ミックステープのタイプを変更する .....	146
<b>外部機器とのクロック同期</b> .....	<b>147</b>
外部機器との接続 .....	147
<b>MIDI</b> .....	<b>150</b>
トラックの MIDI チャンネルを設定する .....	150
本体の MIDI チャンネル設定 .....	151
その他の MIDI 設定を変更する .....	153
<b>MIDI NOTE MAP を編集する</b> .....	<b>156</b>
<b>ミュートモードを変更する</b> .....	<b>157</b>
<b>パッド感度を変更する</b> .....	<b>158</b>
<b>PAD のトランポーズを無効にする</b> .....	<b>159</b>
<b>内蔵スピーカーをミュートする</b> .....	<b>160</b>
<b>カード機能</b> .....	<b>161</b>
カードリーダーモード .....	161
カードをフォーマットする .....	162
カードのパフォーマンステスト .....	163
<b>電源の設定を変更する</b> .....	<b>164</b>
バッテリータイプを変更する .....	164
<b>AUTO POWER OFF を設定する</b> .....	<b>165</b>
<b>Lofi-12 XT を工場出荷時の状態に初期化する</b>	<b>166</b>
<b>システム情報</b> .....	<b>167</b>
システムバージョン情報を確認する .....	167
<b>Lofi-12 XT のファームウェアをアップデートする</b>	<b>168</b>
<b>付録</b> .....	<b>169</b>
サウンドアーキテクチャ .....	169
<b>ハードウェア仕様</b> .....	<b>170</b>

# 各部の名称

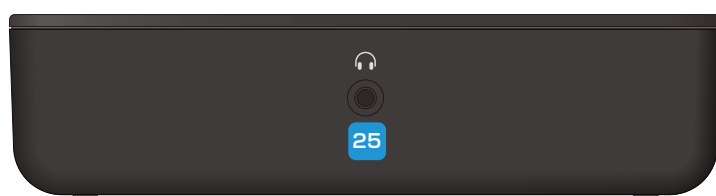
本体右



背面



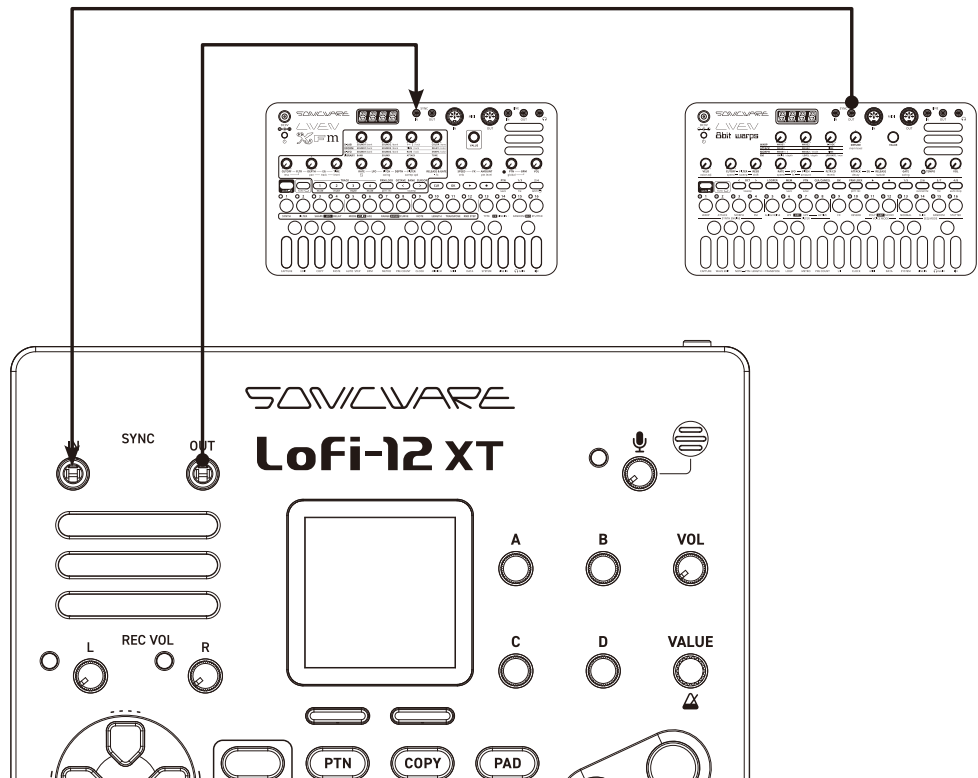
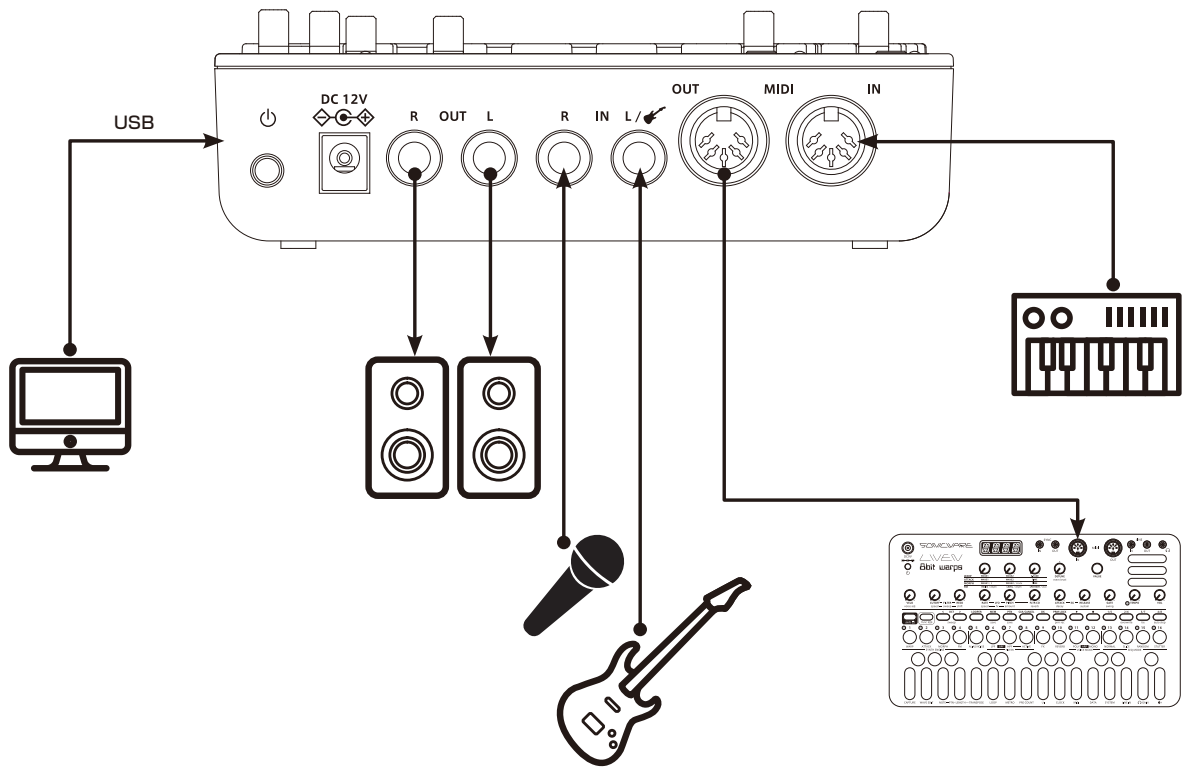
手前



# 各部の名称

<b>1: SYNC イン/アウト</b> SYNC 信号の入力と出力	<b>2: マイク</b> 内蔵マイクと入力調節用 ゲインノブ	<b>3: スピーカー</b> 内蔵スピーカー出力	<b>4: インプットゲインノブ</b> INPUT L/R の入力ゲイ ンを調節
<b>5: ディスプレイ</b>	<b>6: コントロールノブ</b> 画面上の A ~ D 項目を 調節	<b>7: VOL ノブ</b> ヘッドホンとスピーカーの レベル調節	<b>8: VALUE ノブ</b> マスターレベルの調整 押し込みで TEMPO MENU を表示
<b>9: オグジュアリーボタン</b> 画面下部に表示される項 目を選択	<b>10: D-pad</b> 8 分~ 64 分音符のロー ル演奏や MENU 内カー ソルの移動と選択に使用		
<b>11: ファンクションボタン</b> 他のボタンと同時に押す ことで、サブメニューを表 示	<b>PTN</b> PATTERN SELECT メ ニューを表示	<b>COPY</b> トラックやパラメーター、 ステップをコピー & ペー ストする	<b>PAD</b> PAD モードに切り替える
	<b>save</b> PATTERN SAVE メ ニューを表示	<b>song</b> SONG SELECT メ ニューを表示	<b>project</b> PROJECT MENU を表 示
<b>REC</b> パターンのレコーディング を開始	<b>Play</b> パターンまたはソングを 再生	<b>MIX</b> MIXER ページを表示	<b>MUTE</b> トラックをミュートする
<b>sampling</b> SAMPLING ページを表 示	<b>system</b> SYSTEM MENU を表 示	<b>ext src</b> USB & EXT IN ページ を表示	<b>mix tape</b> MIX TAPE ページを表 示
<b>12: OK ボタン</b> メニューの決定などに使 用	<b>13: CLR ボタン</b> ステップの取り消しやメ ニュー画面からの退場に 使用	<b>14: ステップキー</b> トラックパッドと同時押し でダイレクトレコーディン グ可能 ファンクションボタンと同 時押しでデータ編集可能	
<b>15: ページスイッチ</b> ページの選択や切替に使 用 PAD モードではス ケールシフト変更に使用	<b>16: パラメーターパッド</b> パラメーターページの表 示や、PAD モードの演 奏などで使用	<b>17: トラック パッド</b> トラックの選択や、PAD モードの演奏などで使用	<b>18: 電源ボタン</b> 長押しして本体の電源を オン/ オフする
<b>19: DC12V</b> 付属の電源アダプターを 接続	<b>20: アウトプット L/R</b> ステレオラインレベル オーディオ出力	<b>21: インプット L/R</b> INPUT L は Hi-Z イン、 INPUT R はダイナミック マイクインとしても使用可 能	<b>22: MIDI イン/アウト</b> MIDI 信号の入力と出力
<b>23: USB 端子</b> PC と接続し、データ管 理や USB MIDI 機能、 オーディオインターフェー スとして使用	<b>24: 記録カード</b> Lofi-12 XT データ保存 用カード (SDHC 32GB まで対応)	<b>25: ヘッドホンアウト</b> ヘッドホン用オーディオ出 力	

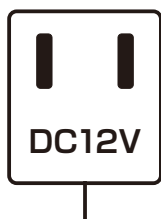
# 接続例



# 起動と終了

## 電源の準備

AC アダプターは付属です



or

単三アルカリ乾電池 x 6



**AC アダプターは必ず付属のものを使用してください。指定以外のACアダプターを使用した場合、故障の原因となります。**

電池残量が少なくなると電池アイコンが下のようになります。速やかに電池を交換してください。



ニッケル水素充電電池、リチウム電池を使う場合はバッテリーの設定を変更してください。(→ P.164)

## 起動

- 1 ディスプレイに Lofi-12 XT と表示されるまで POWER スイッチを長押し。



## 終了

- 1 ディスプレイが消灯するまで POWER スイッチを長押し。

# 基本操作

## 全体の音量を調整する

スピーカー、ヘッドホン、LINE OUT の音量を調整します。



Master Level	
0~127	100が0dBで -∞~ +3dB の範囲で変更できます

## スピーカー、ヘッドホンの音量を調整する



内蔵スピーカーとヘッドホンの音量を調整します。





Speaker/Headphones Volume	
0~127	真ん中が0dBで -∞~ +6dB の範囲で変更できます

ヘッドホンを接続せずに内蔵スピーカーを常にミュートしたいときは、「内蔵スピーカーをミュートする」を参照。(→ P.160)

## 十字キーと OK/CLR ボタンについて

本マニュアルでは、煩雑にならないよう、十字キー (D-pad)  /  ボタンで操作できる項目全てを説明していません。

多くの画面では、ノブの他に十字キー (D-Pad) と  /  ボタンで操作できるようになっています。

# 基本操作

## コントロールノブ / VALUE ノブ

画面に表示中のパラメーターを変更 / 調節する際に使用します。  
ノブにはスイッチも搭載されています。主に 2 通りの使い方があります。



回す

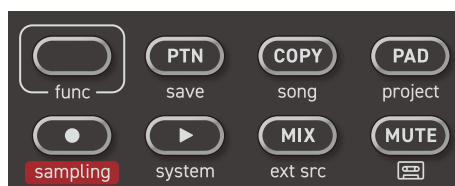


押す

コントロールノブ下向き矢印アイコンで示されたパラメーターの場合、**押し込む**ことでパラメーターのオンオフや機能の変更等を行うことができます。

## ファンクションボタン

Lofi-12 XT のボタンには 2 つの機能が割り当てられているものがあります。



上の例だと、**PTN** には save、**COPY** には song というサブメニューが割り当てられています。

**func** を押しながら、これらのボタンを押すことでサブメニューを呼び出すことができます。

本マニュアルでは **func** を押しながらの操作は次のように記載します。



また、ファンクションボタンは他のノブと併用することで数値を飛ばして入力することができます。

数字の大きいパラメーターなどはファンクションボタンを押しながら操作することで素早く設定することができます。

# 基本操作

---

## 15 パッド



## パラメーターパッド

7つのパラメーターパッドを押すことで、パラメーターエディット用のページを表示します。

各ページにはオグジュアリーボタンを押すことで表示できるサブページがあります。

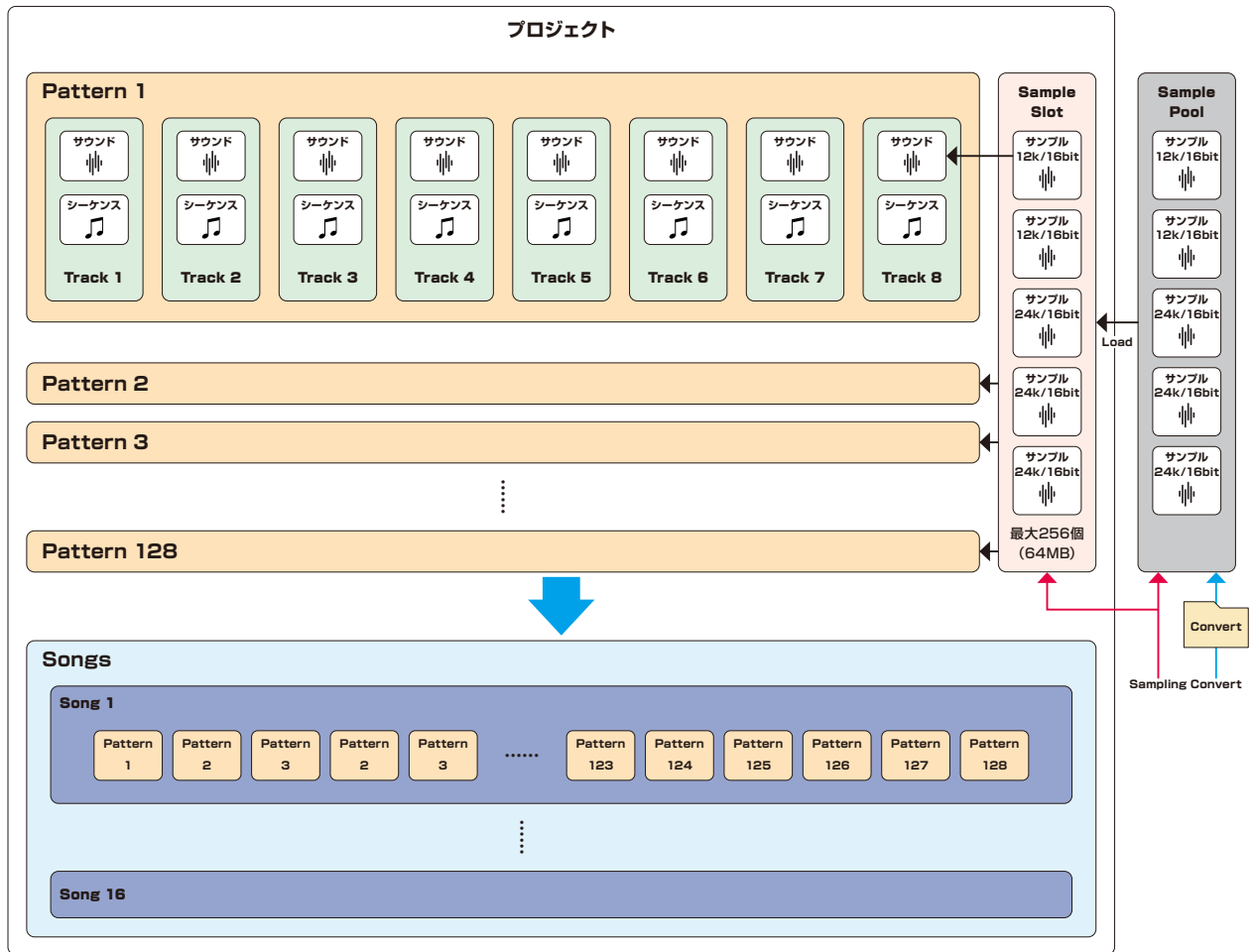
○ オグジュアリーボタン左のサブページは、そのパラメーターパッドをもう一度押すことでも表示することができます。

## トラックパッド

8つのトラックパッドを押すことで、トラックの選択とトラックにアサインされているサンプルをトリガーします。

各トラックは、パラメーターパッドでページを切り替えながらエディットします。

# Lofi-12XT のプロジェクト構造



# Lofi-12XT のプロジェクト構造

---

## プロジェクトとは

プロジェクトとは、後述するパターンとソング、サンプルスロットを1つにまとめたものです。Lofi-12 XT で使用する全てのデータはこのプロジェクトに保存されています。

プロジェクトごとにカード内の Pool から、プロジェクトで使用するサンプルデータを最大 256 個 (64MB 上限) 登録可能です。

Lofi-12 XT は、最大で 256 個のプロジェクトを保存できます。

## トラックとは

Lofi-12 XT は、8トラックのシーケンサーを搭載したグループボックスです。

トラックとは、サウンドの設定とシーケンス (演奏情報) を1つにまとめたものです。

Lofi-12 XT は、このトラックを 8 つ持っていて、各トラックごとに別々のサウンドでシーケンスを作成することができます。

## パターンとは

パターンとは、8 つのトラックを1つにまとめたものです。1つのパターンの長さは 1 ~ 128 小節ほどで、楽曲を構成する最小単位になります。

Lofi-12 XT は 1 つのプロジェクトにつき、合計 128 パターンを保存できます。

## ソングとは

ソングとは、パターンの再生順、繰り返し回数や小節数を設定して 1 つの楽曲として再生するものです。

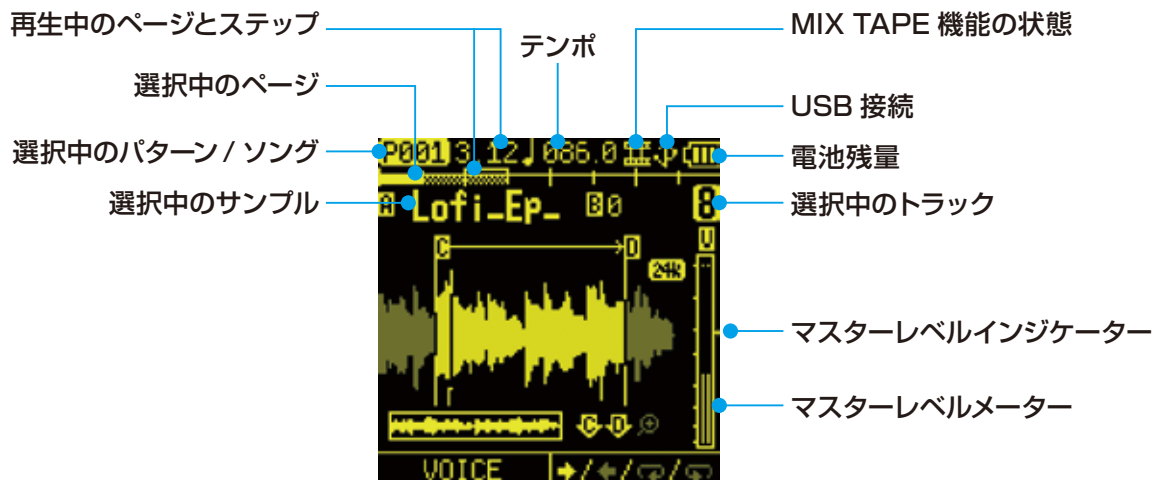
1 つのプロジェクトにつき 16 個のソングを保存できます。

1 つのソングに最大 99 個のパターンを登録できます。

# パターンの再生と基本機能

## 基本的な画面表示

Lofi-12 XT は、選択した機能によって画面表示が変わりますが、以下の基本的な表示は共通しています。



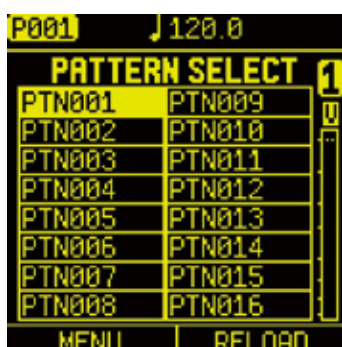
# パターンの再生と基本機能

## パターンの選択

1 **PTN** を押して、PATTERN SELECT メニューを表示する。

2 ●ステップキーを押す。  
パターンが選択されます。  
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)

3 **OK** ボタンを押して、  
パターンを確定する。



- ・パターンを確定した時に PATTERN SELECT メニューを表示したままにすることもできます。(→ P.156)
- ・パターン再生中に別のパターンを選択した場合、すぐに切り替わらず予約されます。  
再生中のパターン終了後に選択したパターンに切り替わります。  
(**func** + **OK** で選択すると、すぐにパターンを切り替えることもできます。)
- ・**OK** + **▶** を押すことで、ソングを再生できます。(→ P.125)
- ・**CLR** + **▶** を押すことで全ての発音を停止できます。

## パターン 17 以降の選択

手順1の後に□□ページスイッチ、もしくは□トラックパッドを押すことでページを移動してパターン 17 以降を選択できます。

# パターンの再生と基本機能

## パターンをリロードする

- 1 **PTN** を押す。
- 2  オグジュアリーボタン右 **RELOAD** を押す。
- 3 以下の MENU からリロードしたいパラメーターを選択して **OK** ボタンを押す。

RELOAD	
SEQUENCE	シーケンサーに保存されているステップ情報をリロードします。
PARAMETER	トラック設定をリロードします。
ALL	パターン内全ての設定をリロードします。
SEND EFX	SEND FX 設定をリロードします。

## パターンごとに音量を調節する

- 1 **func** を押しながら  VALUE を回す。



PATTERN LEVEL	
0~127	100 が 0dB で -∞ ~ +3dB の範囲で変更できます。

# パターンの再生と基本機能

## 別のプロジェクトのパターンを再生する

- 1 **func** + **PAD** project を押して、PROJECT MENU を表示。
- 2 PROJECT MENU で SELECT/NEW を選択。



- 3 いずれかのプロジェクトを選択して、**OK** ボタンを押す。




- 4 現在のプロジェクトを保存する場合は YES を選択して、**OK** ボタンを押す。











新しいプロジェクトが開いたら、(→ P.18) の手順に沿ってパターンを再生します。

# パターンの再生と基本機能

## テンポの変更

- 1  VALUE を押し込んで、TEMPO MENU を表示。  
設定したいノブを回します。




TEMPO MENU		
 A ノブ	BPM	<b>40 ~ 250:</b> パターンのテンポを設定します。
 A ノブ押込	TAP	TAP テンポの入力をします。
 B ノブ	SWING	<b>0% ~ 75%:</b> スウィング量の設定をします。
 C ノブ	METRONOME	<b>0 ~ 16:</b> メトロノームの音量を設定します。
 C ノブ押込	OFF/ON	メトロノームのオンオフを設定します。
 D ノブ	P-COUNT	<b>1 ~ 16:</b> プリカウント数を設定します。
 D ノブ押込	OFF/ON	プリカウントのオンオフを設定します。
 オグジュアリーボタン左	GLBL、PTN	<b>PTN:</b> パターンチェンジした際、パターンに保存されているテンポ情報を使って BPM が変更されます。  <b>GLBL:</b> パターンチェンジした際も引き続き現在のグローバル BPM 値に従って動作します。 グローバル BPM はプロジェクトに保存されます。



# パターンの再生と基本機能

---



- ・一定のテンポでジャムセッションを進行したい場合はグローバル BPM モードを、パターンごとにテンポを変えたい場合はパターン BPM モードを選択してください。
  - ・ オグジュアリーボタン右 **RELOAD** を押すことで、パターンの TEMPO 設定をリロードすることができます。
- 

## テンポを変更する

- 1 TEMPO MENU で  A ノブを回して、テンポを変更する。  
 を押しながら回すと、0.1 単位で変更できます。



## スウィングを設定する

- 1 TEMPO MENU で  B ノブを回して、SWING 量を調整する。





- ・CONFIG ページでトラック毎に調整することもできます。(→ P.66)
- 

## メトロノームを設定する



- 1 TEMPO MENU で  C ノブを押し込んで、メトロノームをオンにする。
- 2  C ノブを回して、メトロノームの音量を調整する。

## プリカウントを設定する

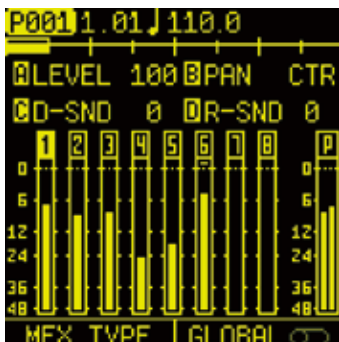
- 1 TEMPO MENU で  D ノブを押し込んで、プリカウントをオンにする。
  - 2  D ノブを回して、プリカウント数を設定する。
-







# パターンの再生と基本機能

## MIXER

- 1  を押して、MIXER を表示。
- 2  を押して、編集したいトラックを選択する。

## ミキサーを編集する



MIXER		
 A ノブ	LEVEL	<b>0 ~ 127:</b> トラックの音量レベル
 B ノブ	PAN	<b>L63 ~ L1、CTR、R1 ~ R63:</b> トラックのパン
 C ノブ	DELAY SEND	<b>0 ~ 127:</b> Delay エフェクトへのセンド量
 D ノブ	REVERB SEND	<b>0 ~ 127:</b> Reverb エフェクトへのセンド量
 オグジュア リーボタン左	MFX TYPE	マスター FX ページを表示
 オグジュア リーボタン右	GLOBAL OFF/ON	<b>OFF:</b> パターンに保存されている設定を使用します。  <b>ON:</b> 現在の設定がグローバル設定として保存され、使用されます。

# パターンの再生と基本機能

## マスター FX を編集する

Lofi-12 XT は、ミキサー後にマスターエフェクトを備えています。



MASTER FX		
<p>Ⓐ ノブ</p>	TYPE	<p>エフェクトタイプの変更</p> <p><b>FILTER:</b> フィルター</p> <p><b>SC-COMP:</b> サイドチェーンコンプレッサー</p> <p><b>COMP:</b> コンプレッサー</p> <p><b>ISOLATOR:</b> アイソレーター</p> <p><b>REMIX:</b> リミックス</p> <p><b>SNIP LOOP:</b> スニップループ</p>
<p>Ⓑ ノブ</p> <p>OK</p>	ON/OFF	<p>マスター FX のオンオフ</p> <p>OK ボタンを押すことでも ON/OFF を切り替えることができます。</p>
<p>○ オグジュアリーボタン左</p>	MFX PARAM	<p>マスター FX のパラメーターページを表示</p>
<p>func + ○</p> <p>オグジュアリーボタン左</p>	MIXER	<p>MIXER を表示します。</p> <p>MIX ボタンを押すことでも表示できます。</p>
<p>○ オグジュアリーボタン右</p>	GLOBAL OFF/ON	<p><b>OFF:</b> パターンに保存されている設定を使用します。</p> <p><b>ON:</b> 現在の設定がグローバル設定として保存され、使用されます。</p>

# パターンの再生と基本機能

FILTER 1/2		
ⓐ ノブ	FREQ	<b>0 ~ 127:</b> フィルターのカットオフフリークエ シー
ⓓ ノブ	RESONANCE	<b>0 ~ 127:</b> フィルターのレゾナンス
FILTER 2/2		
ⓐ ノブ	TYPE	<b>LPF、HPF、BPF:</b> フィルターのタイプ選択
SC-COMP 1/2		
ⓐ ノブ	RATIO	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのレシオ値
ⓓ ノブ	THRESHOLD	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのスレッシュホールド値
SC-COMP 2/2		
ⓐ ノブ	SIDE CHAIN SOURCE	<b>NONE、TRACK1 ~ 8、EXT IN、USB:</b> サイドチェインソースにするトラック の選択  NONE の場合、通常のコンプレッ サーとして機能します。
ⓑ ノブ ⓐ ノブ押込	TARGET	<b>1 ~ 8、S、E、U:</b> コンプレッサーを適用するトラックの 選択 ノブを押込むことで ON、OFF の切 り替え  S、E、U を選択することでセンド エフェクト、外部入力や USB オー ディオにもコンプレッサーを適用す ることができます。
ⓐ ノブ	ATTACK	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのアタックタイム
ⓓ ノブ	RELEASE	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのリリースタイム

# パターンの再生と基本機能

COMP 1/2		
🗲️C ノブ	THRESHOLD	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのしきい値
🗲️D ノブ	RATIO	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのレシオ値
COMP 2/2		
🗲️A ノブ	ATTACK	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのアタックタイム
🗲️B ノブ	RELEASE	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのリリースタイム
🗲️D ノブ	GAIN	<b>0 ~ 127:</b> コンプレッサーのメイクアップゲイン
ISOLATOR 1/2		
🗲️C ノブ	L-GAIN	<b>-63 ~ 0 ~ 63:</b> 低域のゲイン量
🗲️D ノブ	M-GAIN	<b>-63 ~ 0 ~ 63:</b> 中域のゲイン量
ISOLATOR 2/2		
🗲️A ノブ	H-GAIN	<b>-63 ~ 0 ~ 63:</b> 高域のゲイン量
🗲️B ノブ	GAIN	<b>-63 ~ 0 ~ 63:</b> アイソレーターのゲイン量
REMIX		
🗲️C ノブ	REPEAT	<b>0 ~ 127:</b> ビートのリピート 31 ~ 127 でリピートの長さが短くなり、0 ~ 30 でリピートしながらスクリュースダウンします。

# パターンの再生と基本機能

SNIP LOOP 1/2		
 C ノブ	LENGTH	<b>1/1、1/2、1/4、1/6、1/8、1/12、1/16、1/24、1/32、1/48、1/64、1/128:</b> ループの長さ D-Pad を押すことでも 1/4 ~ 1/32 の間で LENGTH を変更できます。
 D ノブ	DEPTH	<b>0 ~ 127:</b> ループの再生時間
SNIP LOOP 2/2		
 A ノブ	BAL	<b>-63 ~ 0 ~ 63:</b> ループとパターン再生のバランス -63 でパターン再生、63 でループ音のみ発音します。

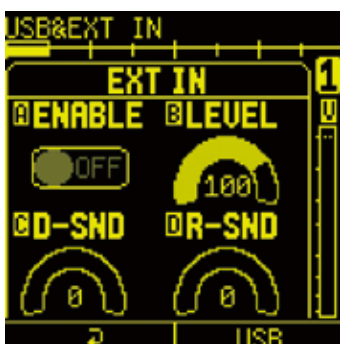
# パターンの再生と基本機能

## 外部入力機能

Lofi-12 XT は外部入力音声をサンプリングに使用するだけでなく、トラックとして使用することができます。

USB とアナログインプットを個別に Reverb/Delay エフェクトへセンドすることもできます。

1 **func** + **MIX** **ext src** を押す。



USB&EXT IN		
Ⓐ ノブ	ENABLE	<b>OFF、ON:</b> 入力モニターのオンオフ
Ⓑ ノブ	LEVEL	<b>0 ~ 127:</b> 外部入力音声のレベル
Ⓒ ノブ	D-SND	<b>0 ~ 127:</b> Delay エフェクトへのセンド量
Ⓓ ノブ	R-SND	<b>0 ~ 127:</b> Reverb エフェクトへのセンド量
○ オグジュアリーボタン右	EXT IN/USB	<b>EXT IN:</b> EXT IN オーディオの設定ページを表示  <b>USB:</b> USB オーディオの設定ページを表示

# パターンの再生と基本機能

---



- ・録音ソースで USB を選択している場合、ext src の USB 設定は無効化され EXT IN の設定が USB 入力に反映されます。
  - ・アナログ入力を使用する場合は本体の REC VOL ノブで入力を調整してください。  
REC VOL を左に回し切っている場合は音声が入力されません。
-

# トラックの操作

---

Lofi-12 XT は、8 つのトラックを選択し、6 つのトラックパラメーターと1 つのセンドFX パラメーターを使ってオペレーションを行います。

□トラックパッドを押すことで対象のトラックを選択すると同時に、選択されているサンプルを再生します。

## トラックを選択してサンプルを変更する

- 1 □トラックパッドを押してトラックを選択。  
サンプルが再生されます。



- 2 SOUND ページでⓂA ノブを回して、サンプルを選択する。

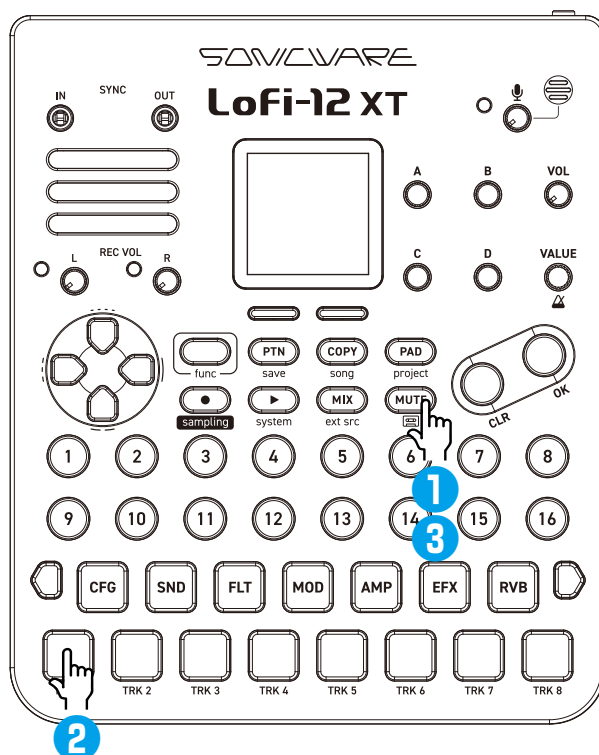


- **func** ボタンを押しながら□トラックパッドを押すことで、サンプルを鳴らさずにトラックを選択することができます。
  - 現在選択されているトラックの□トラックパッドは白点灯します。  
サンプルがアサインされているトラックの□トラックパッドは緑点灯します。
-

# トラックの操作

## トラックをミュートする

- 1 **MUTE** を押して、MUTE モードに入る。
- 2 ミュートしたい  トラックパッドを押して選択。  
ミュートした  トラックパッドが黄色に点灯します。  
黄色に点灯した  トラックパッドを押すとミュートが解除されます。
- 3 点灯している **MUTE** を押して、MUTE モードを抜ける。



- **MUTE** を押しながら  トラックパッドを押すことで、選択したトラックを直接ミュート / ミュート解除することもできます。
- MUTE モード中でも **func** +  トラックパッドを押すことでトラックの選択が可能です。
- ミュートモードを変更する (→ P.157) ことで、ミュート中のトラックを演奏することができます。

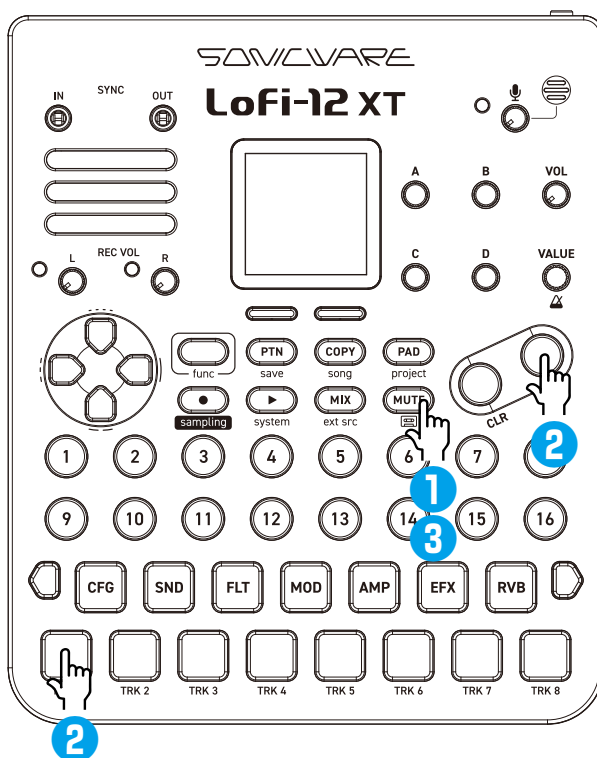
# トラックの操作

## グローバルミュートする

- 1 **MUTE** を押して、MUTE モードに入る。
- 2 **OK** を押しながらミュートしたい  トラックパッドを押してミュートする。  
ミュートした  トラックパッドが明るい黄色に点灯します。

グローバルミュートをしたトラックは、パターン切替後もミュートされたままになります。

- 3 点灯している **MUTE** を押して、MUTE モードを抜ける。



# トラックの操作

---

## D-pad を使ったロール演奏

D-Pad の上下左右を押したまま、□トラックパッドを押すことでロール演奏をすることができます。

このロール演奏はシーケンサーにも記録できます。

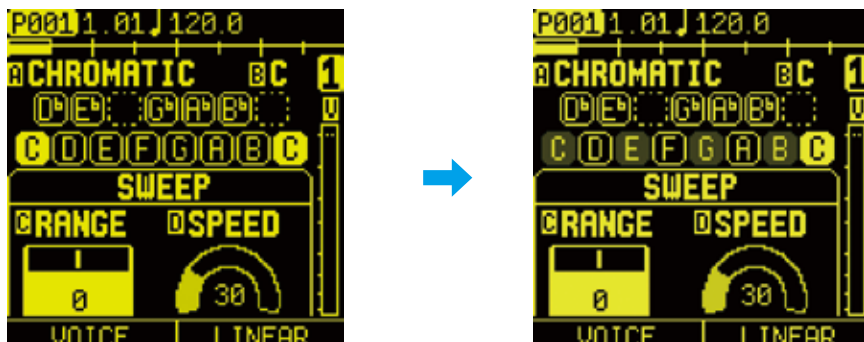
D-PAD	
右	8 分音符
下+右	4 分 3 連音符
下	16 分音符
下+左	8 分 3 連音符
左	32 分音符
上+左	16 分 3 連音符
上	64 分音符
上+右	なし



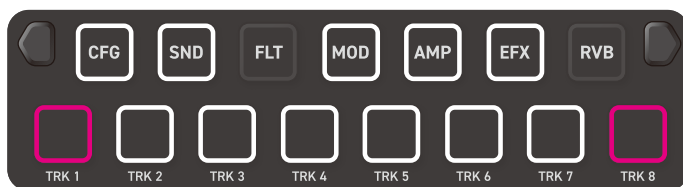
- ・ROLL 演奏中、□トラックパッドの押し加減を変えることで音量の強弱をつけられます。
  - ・ロール演奏中は D-pad の入力変更に従います。
  - ・Mixer 画面表示中は D-pad を使った ROLL 演奏ができません。
-

# トラックの操作

## PAD モードでの演奏



- 1 **PAD** を押して PAD モードに入る。  
SOUND ページで **PAD** を押すと PAD ページが表示されます。



PAD モード中はサンプルを 15 パッドでスケール演奏することができます。  
スケールのルート音がオクターブ毎に、ピンクで点灯します。



- ・ボイスモードが SLICE に設定されている場合は、15 パッドでスライスを演奏できます。(→ P.74)
- ・PAD モード画面表示はノートオンされているパッドに対応します。
- ・PAD モード中は
  - func** + **□** パラメーターパッドを押してパラメーターエディットページの切り替え、
  - func** + **□** トラックパッドを押してトラックの切り替え、
  - func** + **□□** ページスイッチを押してページの切り替えをします。

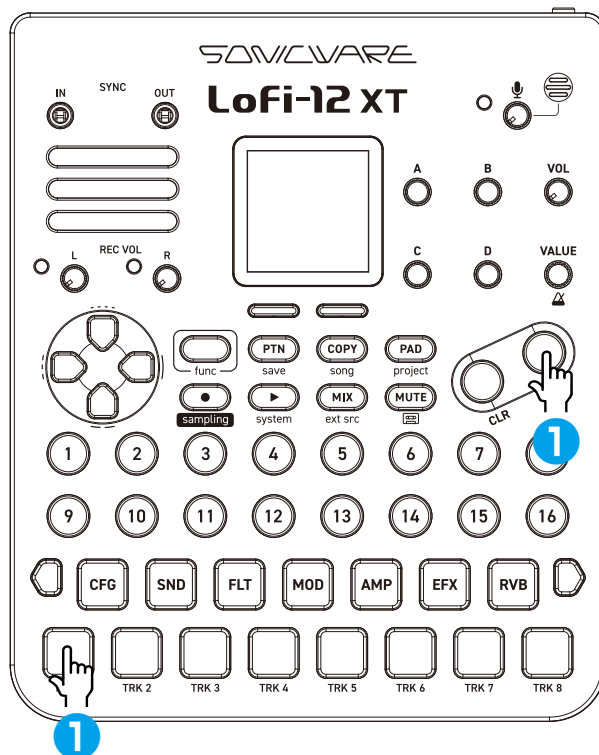
# トラックの操作

## ホールドして演奏する

1 **OK** + **□** 15 パッドを押す。

押したパッドのノートがホールドされます。もう一度同じパッドを押すことでホールドを解除します。

**OK** + **CLR** を押すことで全てのホールド解除することができます。



・VOICEモードがPOLYのトラックはARPを設定することでアルペジエーターをホールドすることもできます。

**OK** + D-pad + **□** 15 パッドを押すことでロール演奏をホールドすることもできます。

# トラックの操作

PAD モード		
🔊 A ノブ	SCALE	<input type="checkbox"/> 15 パッドに表示するスケールの選択
🔊 B ノブ	Key	<b>C,Db,D,Eb,E,F,Gb,G,Ab,A,Bb,B:</b> 表示するルート音の選択
🔊 C ノブ	SWEEP RANGE	<b>-11 ~ 11、± 10CT、± 20CT:</b> スイープの量 マイナス方向でスイープダウン、プラス方向でスイープアップするようになります。
🔊 D ノブ	SWEEP SPEED	<b>0 ~ 127:</b> スイープの速度 値が小さいほど速度が速くなります。
<input type="checkbox"/> オグジュア リーボタン右	SWEEP CURVE	<b>LINEAR:</b> 入力したノートからレンジ分直線的に変化します。  <b>EXP:</b> 入力したノートからレンジ分最初ゆっくり変化し、後半は急に変化します。  <b>LOG:</b> 入力したノートからレンジ分最初急に変化し、徐々にゆっくり変化します。

# トラックの操作

## スケールを変更する

- 1 PAD ページで  A ノブを回す。  
選択できるスケールは以下の通りです。

SCALE		
CHROMATIC	クロマチックスケール	C,Db,D,Eb,E,F,Gb,G,Ab,A,Bb,B
MAJOR	メジャースケール	C,D,E,F,G,A,B,
MINOR	マイナースケール	C,D,Eb,F,G,Ab,Bb
HARM. MINOR	ハーモニックマイナー スケール	C,D,Eb,F,G,Ab,B
MELO. MINOR	メロディックマイナース ケール	C,D,Eb,F,G,A,B
DORIAN	ドリアンスケール	C,D,Eb,F,G,A,Bb
PHRYGIAN	フリジアンスケール	C,Db,Eb,F,G,Ab,Bb
LYDIAN	リディアンスケール	C,D,E,Gb (F#),G,A,B
MIXOLYDIAN	ミクソリディアンスケール	C,D,E,F,G,A,Bb
LOCRIAN	ロクリアンスケール	C,Db,Eb,F,Gb,Ab,Bb
SUP. LOCRIAN	スーパーロクリアンス ケール	C,Db,Eb,E,Gb,Ab,Bb
MAJOR BLUES	メジャーブルースス ケール	C,D,Eb,E,G,A
MINOR BLUES	マイナーブルースス ケール	C,Eb,F,Gb,G,Bb
DIMINISHED	ディミニッシュスケール	C,D,Eb,F,Gb,Ab,A,B
COM DIM	コンビネーションディ ミニッシュスケール	C,Db,Eb,E,Gb,G,A,Bb

# トラックの操作

SCALE		
MAJ. PENTA	メジャーペンタトニックスケール	C,D,E,G,A
MIN. PENTA	マイナーペンタトニックスケール	C,Eb,F,G,Bb
RAGA1	RAGA1	C,Db,E,F,G,Ab,B
RAGA2	RAGA2	C,Db,E,Gb,G,A,B
RAGA3	RAGA3	C,Db,Eb,Gb,G,Ab,B
ARABIC	アラビックスケール	C,D,E,F,Gb,Ab,Bb
SPANISH	スパニッシュスケール	C,Db,Eb,E,F,G,Ab,Bb
GYPSY	ジプシースケール	C,Db,E,F,G,Ab,B
MINOR GYPSY	マイナージプシースケール	C,D,Eb,Gb,G,Ab,B
EGYPTIAN	エジプシャンスケール	C,D,F,G,Bb
HAWAIIAN	ハワイアンスケール	C,D,Eb,F,G,A,B
PELOG	ペログスケール	C,Db,Eb,G,Ab
HIRAJOSHI	平調子	C,D,Eb,G,Ab
IN-SEN	陰旋法	C,Db,F,G,Bb
IWATO	岩戸音階	C,Db,F,Gb,Bb
KUMOI	雲井音階	C,D,Eb,G,A
MIYAKO BUSHI	都節音階	C,Db,F,G,Ab
RYUKYU	琉球音階	C,E,F,G,B
CHINESE	チャイニーズスケール	C,E,Gb,G,B

# トラックの操作

---

SCALE		
WHOLE TONE	ホールトーンスケール	C,D,E,Gb,Ab,Bb
WHOLE HALF	ホールハーフスケール	C,D,Eb,F,Gb,Ab,A,B
5TH INT.	5度音階	C,G



- ・クロマチックスケール以外のスケールでは、□ 15 パッドがスケールの音階のみで順番に配置されます。
-

# サンプルのセットアップ

## Lofi-12 XT で使用できるサンプルファイル

Lofi-12 XT は、12kHz または 24kHz/16bit のモノラル WAV ファイルのみに対応したローファイサンプラーです。

収録されているプリセットも全て上記ファイルフォーマットで収録されています。

Lofi-12 XT で使用できるサンプルファイルを作成するには 3 つの方法があります。

1. Lofi-12 XT でサンプリングする。
2. Lofi-12 サウンドが簡単に作れる当社独自の Lofi コンバートエンジンでオーディオファイルをコンバートする。
3. 自分で 12kHz または 24kHz/16bit のモノラル WAV ファイルを作成し、Pool フォルダにインポートする。

## サンプルファイルの制限事項

Lofi-12 XT は使用可能なファイルをデータベース化することで、強力なブラウジングや検索機能を実現しています。

スムーズな動作を実現するために以下の制限事項が設けられています。

- ・一つのフォルダ内における上限はフォルダを合わせて 1,024 項目です。これを超える場合、CONVERT AUDIO ではそのフォルダ内のファイルのコンバートがスキップされます。また DB UPDATE ではそのフォルダ内のファイルの DB 登録がスキップされます。

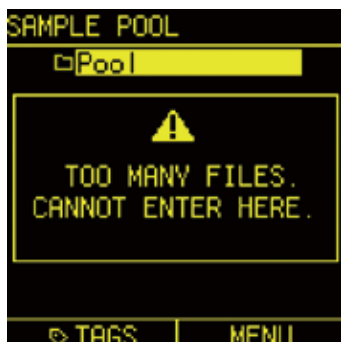


- ・フォルダのフルパスが 191 文字を超えるとき、そのフォルダは使用できません。

# サンプルのセットアップ

---

- ・ CONVERT AUDIO では各階層内のフォルダ数とファイル数の合計が 1,024 個を超える場合、そのフォルダは CONVERT はされず、また DB に登録されません。
- ・ SAMPLE POOL 画面に TOO MANY FILES ~と表示される場合、一つのフォルダ内のファイル制限数を超過してしまっています。  
制限を超えたフォルダ内のファイルは FILE NAME SEARCH や TAG SEARCH 画面で表示されません。  
フォルダ内のファイル数を調整してください。

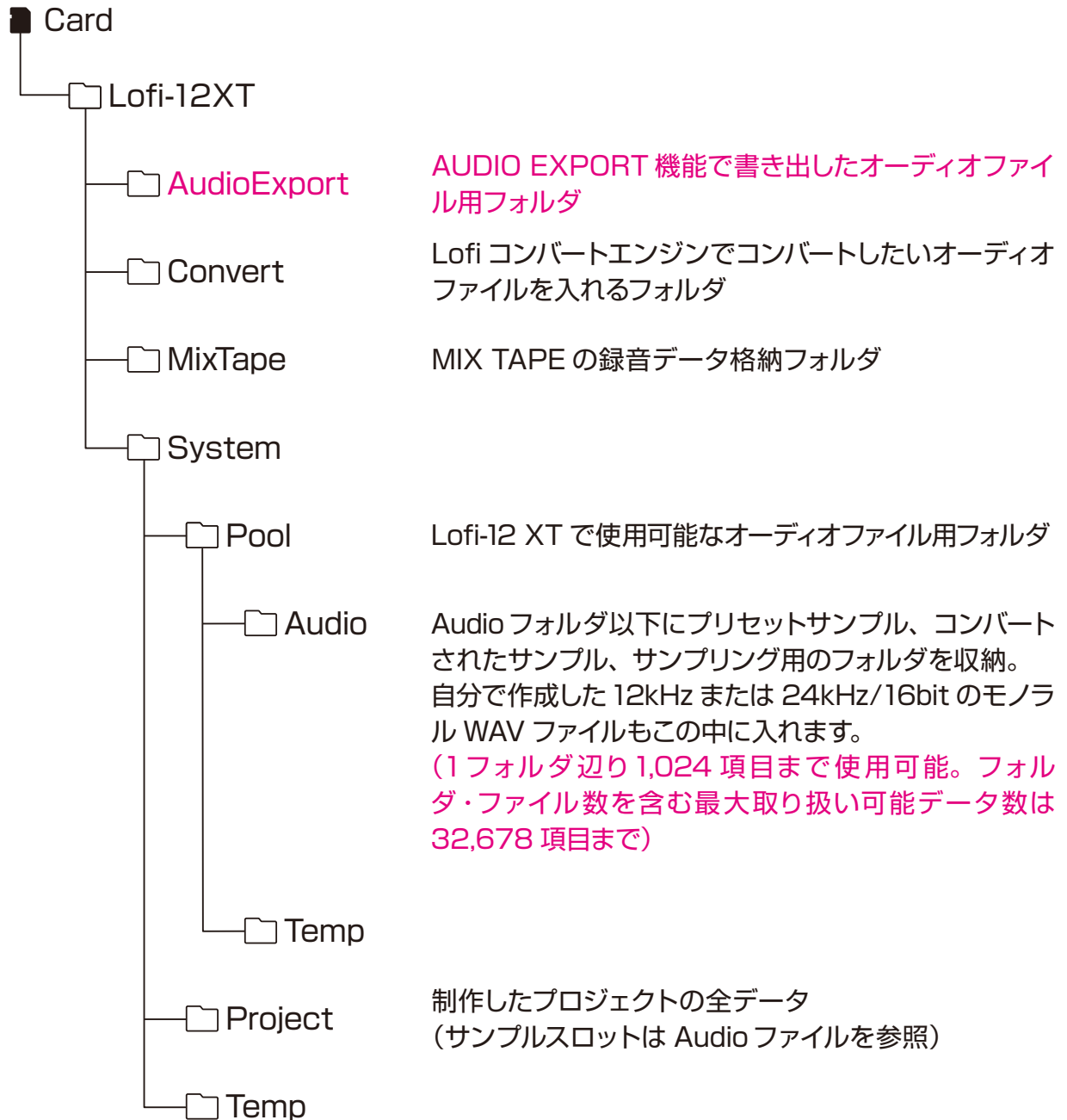


- ・ Lofi-12 XT 内で利用可能なファイルの上限数はフォルダ含めて 32,678 個です。  
これを超えるオーディオファイルは使用できません。
- ・ 拡張子を含むファイル名が 64 文字を超える WAV ファイルは、最大文字数を  
超えるため使用できません。
- ・ 43 秒を超える WAV ファイルは SAMPLE POOL のリストに表示されません。

# サンプルのセットアップ

## Lofi-12 XT のフォルダ構成

Lofi-12 XT で使用するカード内は、次のようなフォルダ構成になっています。



## サンプルスロット

1 つのプロジェクトは 256 個のサンプルスロットを持っています。  
サンプルをスロットにロードすることで、トラックで使用することができます。

# サンプルのセットアップ – サンプリング

## サンプリング

- 1 **func** + **Sampling** を押して SAMPLING ページを表示。
- 2 **A** ~ **D** ノブを回して、サンプリング設定を変更。



SAMPLING	
<b>A</b> ノブ	録音ソースの切り替え
<b>B</b> ノブ	モニター音量の調整
<b>B</b> ノブ押込	モニターの ON/OFF
<b>C</b> ノブ	録音ソースに関する設定
<b>D</b> ノブ押込	ノーマライズの ON / OFF
<b>VALUE</b> 押込	AUTO REC の ON / OFF
<b>VALUE</b>	AUTO REC を開始する入力信号のレベルの調整
オグジュアリーボタン左	サンプリング周波数の選択 12kHz / 24kHz 表示されているサンプリング周波数で録音されます。
オグジュアリーボタン右	サンプリング完了後に名前を付ける場合は ON にします。



- ・ AUTO REC をオンにすることで、設定したレベルを超えた入力信号に対して自動でサンプリングを開始することができます。

# サンプルのセットアップ – サンプリング

## 録音ソースの設定

REC SRC			
	内蔵マイク	内蔵マイクを使用します。本体のマイクゲインノブで適正な音量に設定します。	
	Hi-Z	ギターやベースなどのハイインピーダンスの楽器を接続して使用します。 RECノブでゲインを設定します。	REC VOLノブで入力ゲインをコントロール
	ダイナミックマイク	ダイナミックマイクを接続して使用します。 RECノブでゲインを設定します。	REC VOLノブで入力ゲインをコントロール
	STEREO LINE 入力	STEREO LINE 入力を使用します。入力された信号はモノラルミックスされます。 RECノブで -20dB PAD をオンオフできます。	REC VOLノブで入力ゲインをコントロール
	MONO LINE 入力	MONO LINE 入力を使用します。 RECノブで -20dB PAD をオンオフできます。	REC VOLノブで入力ゲインをコントロール
	USB	USB 接続を使用します。 RECノブでサンプリングするチャンネルを選択します。	
	リサンプリング	再生するパターンをリサンプリングします。 RECノブでリサンプリングするトラックを選択します。	

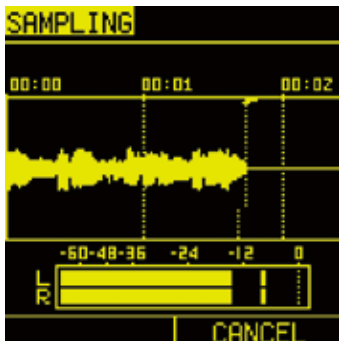
# サンプルのセットアップ – サンプリング

---

**3** トラックパッドを押してサンプルを録音したいトラックを選択。  
サンプルがロードされているトラックは薄く赤点滅、OFF または NO FILE のトラックは濃く赤点滅して表示されます。

**4** sampling が赤点滅している トラックパッドを押してサンプリングを開始する。

オグジュアリーボタン右 **CANCEL** を押して中断できます。



**5** もう一度 sampling が赤点灯している トラックパッドを押して、サンプリングを完了する。

サンプリングしたファイルは、サンプルスロットに自動的にロードされ、Pool \Audio\ プロジェクト名のフォルダ内に置かれます。



- ・サンプリングの最大時間は 40 秒です。  
最大時間に達すると自動的にサンプリングが終了します。
  - ・トラックパッドをギュッと押してサンプリング開始、指を離すとサンプリング終了することも可能です。
-

# サンプルのセットアップ – サンプルリグ

## サンプルリグしたファイルの名前

サンプルリグしたファイルは、以下のルールで自動的に名前が付けられます。

001BIM01

プロジェクト番号 録音ソース 通し番号

録音ソースの略称

略称	録音ソース
BIM	内蔵マイク
GTR	ギター (Hi-Z)
MIC	ダイナミックマイク
MIX	STEREO LINE 入力
INL	MONO LINE 入力 (L ch)
USB	USB
RSM	リサンプルリグ



- ・サンプルリグ前に、オグジュアリーボタン右で **RENAME** を ON にすると、サンプルリグ完了後に名前を付けることができます。

# サンプルのセットアップ – コンバートオーディオ

## オーディオファイルのコンバート

Lofi-12 XT は、Lofi-12 サウンドが簡単に作れる当社独自の Lofi コンバートエンジンを搭載しています。

このコンバート機能を使うと、一般的なステレオオーディオファイルを、簡単に Lofi-12 XT に最適なオーディオファイルに変換できます。

コンバートしたいオーディオファイルを事前にカードリーダーモード (→ P.161) を使用して、Convert フォルダにコピーしてください。「Lofi-12 XT のフォルダ構成」を参照。(→ P.42)

## 対応 WAV フォーマット

コンバート可能なオーディオファイル形式は以下の通りです。

サンプリング周波数	44.1kHz ~ 96kHz
ビット数	16bit ~ 24bit

使用可能な文字 / 記号

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!#\$%&'() +,-.=@[ ] ^ \_ { } (スペース)



- ・対応していない文字を使用しているファイルは、正常に読み込みができずエラーが発生する場合があります。
- ・ファイル名が 64 文字を超える場合、中央部の文字がカットされます。
- ・40 秒より長いオーディオファイルは、40 秒にカットされます。
- ・対応フォーマット以外のオーディオファイルはコンバートされません。

# サンプルのセットアップ – コンバートオーディオ

## オーディオファイルをコンバートする

- 1 カードリーダーモード (→ P.161) を参考に、PC/Mac と接続してオーディオファイルをカード内の以下の場所にコピーする。

"USB ドライブ : \Lofi-12XT\Convert"

- 2 PROJECT MENU で CONVERT AUDIO を選択。



Convert フォルダ内の全対象ファイルが表示されます。



- ・表示可能なファイルは 256 個です。  
表示されないファイルもコンバート対象になります。


# サンプルのセットアップ –コンバートオーディオ


- 3  オグジュアリーボタン右 **CONVERT** を押して、CONVERT SETTINGS を表示。



- 4 コンバートしたい設定を選択し、 ボタンを押してチェックを付ける。

CONVERT SETTINGS	
12k	サンプリング周波数 12kHz でコンバートします
24k	サンプリング周波数 24kHz でコンバートします
L	ステレオファイルの L ch のみ使用します
R	ステレオファイルの R ch のみ使用します
L+R	ステレオファイルをモノラルミックスします

- 5 OK を選択し、 ボタンを押してコンバートを実行する。  
L、R を選択した場合、コンバート完了後のファイル名の末尾に「\_L(または R)」が追加されます。

コンバート完了後に元ファイルを削除したくない場合は、DELETE ORIGINAL FILES が表示されたら NO を選択して  ボタンを押してください。



# サンプルのセットアップ – コンバートオーディオ

---



- ・コンバートされたサンプルはサンプルスロットにロードすることで使用できます。(→ P.52)
  - ・コンバートされたサンプルはPoolフォルダ内に作成された「Converted\_12k (または 24k) \_日付タグ」フォルダに置かれます。
    - \* 日付タグはコンバート対象ファイルの内、更新日が最新のファイルを参照します。
  - ・モノラルのファイルをコンバートする場合はL、R、L+Rの設定は無視されます。
-

# サンプルのセットアップ – インポート –

---

## Lofi-12 XT で使用可能なファイルをインポートする

PC/Mac などで作成した **12kHz** または **24kHz/16bit** の **モノラル WAV ファイル (43 秒以内)** を、Pool フォルダにインポートすることもできます。

- 1 カードリーダーモード (→ P.161) を参考に、PC/Mac と接続してオーディオファイルをカード内の以下の場所にコピーする。

"USB ドライブ : \Lofi-12XT\System\Pool\Audio"

フォルダを作成して、コピーすることもできます。

- 2 オーディオファイルのデータベースを更新して (→ P.63) インポートしたサンプルを使用可能にする。



- 
- ・インポートしたサンプルは、サンプルスロットにロードすることで使用できます。(→ P.52)  
12kHz または 24kHz/16bit のモノラル WAV ファイル (43 秒以内) 以外のファイル形式には対応していません。  
SAMPLE POOL に表示されないファイルがある場合は、インポートしたファイルのファイル形式をご確認ください。
  - ・拡張子を含むファイル名が 64 文字を超える WAV ファイルは、最大文字数を超えるため使用できません。
-

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

---

Lofi-12 XT は、カード内のオーディオファイルをサンプルスロットにロードすることで、トラックで使用できるようになります。

サンプルスロットには、1 つのプロジェクトごとに最大 256 個（64MB 上限）のサンプルをロードできます。


## サンプルをサンプルスロットにロードする方法

サンプルをサンプルスロットにロードするには 3 つの方法があります。

### 1. Lofi-12 XT でサンプリングする

サンプリングすると、自動的にサンプルスロットにロードされます。空いているスロットから順番にロードされていきます。

### 2. SOUND ページでサンプルを選んでロードする

SOUND ページで A ノブを押し込み、TAG SEARCH または SAMPLE POOL からサンプルを選んでロードします。空いているスロットから順番にロードされていきます。

### 3. PROJECT MENU の SAMPLE SLOT でロードする

PROJECT MENU の SAMPLE SLOT で、サンプルスロットを選んでサンプルをロードします。サンプルスロットにロード済みのサンプルを取り消すこともできます。

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

## サンプルを選んでサンプルスロットにロードする

- 1 SOUND ページで **A** ノブを押し込む。  
TAG SEARCH が表示されます。
- 2 サンプルを検索、選択して **○** オグジュアリーボタン右 **LOAD** を押す。  
空いているスロットから順番にサンプルがロードされます。

## TAG SEARCH の基本操作

TAG SEARCH は、膨大なサンプルライブラリーから、目的のサウンドカテゴリーのサンプルを探す場合に便利です。



### カーソルの移動

カーソルをプレビュー再生に合わせて、サンプルをプレビュー再生します。左キーを押すと、もう一度再生できます。

### ページスイッチ左

押しながら 15 パッドを押すと、対応する TAG の付いたサンプルを検索から除外します。



### OK ボタン

サンプルを選択します。押しながらカーソルを移動すると連続で選択できます。

### OFF (消灯)

TAG の付いていないサンプルを除き、全てのサンプルが表示されます (TAG の付いていないサンプルは D ノブを押し込むことで表示させることができます)。

### ON (青点灯)

対応する TAG の付いたサンプルが表示されます。  
複数パッドを押すことで対象サンプルを絞り込んでいきます。











### マイナス ON (黄点灯)

ページスイッチ左を押しながら 15 パッドを押すことで、対応する TAG の付いたサンプルを除外することができます。

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

TAG			
	BD	Bass Drum	バスドラム
	SD	Snare Drum	スネア
	HH	Hi Hats	ハイハット
	DR	Drum	ドラム系
	PC	Percussion	パーカッション
	BS	Bass	ベース
	GT	Guitar	ギター
	KB	Keyboard	キーボード
	SY	Synthesizer	シンセ系
	ST	Strings	ストリングス
	WN	Wind	管楽器
	VO	Voice	ボイス
	FX	FX	効果音
		Loop	ループ
		Slice	スライス
 ページスイッチ右	☆	Favorite	お気に入り

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

TAG SEARCH			
	サンプルの選択		
	TAG SEARCH を抜ける		
D-pad	カーソルの移動		
 B ノブ押込	オーディオファイルのデータベースを最新の状態に更新します。 更新処理は、通常 3 分程度かかります。		
 C ノブ押込	TAG EDIT モードに切り替える	 C ノブ押込 (TAG EDIT MODE)	<b>SAVE TAG</b> TAG EDIT を完了します。
 D ノブ押込	TAG 未設定サンプルを表示する。 新たにサンプリングやインポートしたファイルを素早く見つけられます。		
 オグジュアリーボタン左	<b>BROWSE SAMPLE POOL</b> 表示に切り替わります。	 オグジュアリーボタン右	<b>LOAD</b> 選択したファイルをトラックとスロットにロードします。 複数選択している場合は、連続した空きスロットにロードされます。
		 func +  オグジュアリーボタン右	<b>DELETE</b> 選択したサンプルファイルを削除します。
<input type="checkbox"/> 15 パッド	表示する TAG のオン/オフ	<input type="checkbox"/> ページスイッチ左 + <input type="checkbox"/> 15 パッド	<b>マイナス検索</b> 非表示する TAG のオン/オフ







- ・SAMPLE POOL でフォルダを開くことで、フォルダ内のファイルのみ検索対象にすることができます。

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

---

## サンプルに TAG を付ける

Lofi-12 XT はサンプルに対して 15 個の TAG を設定することができます。  
TAG を設定することで、使いたいサンプルに素早くアクセスすることができます。

- 1  ノブを押して、TAG EDIT モードにする。
- 2 サンプルを選択して、 15 パッドを押して TAG を付ける。  
設定した TAG のパッドは緑点灯します（お気に入りを除く）。
- 3  ノブを押して、TAG を保存する。  
TAG 付けを中止するには  ボタンを押してください。



---

・TAG 情報はオーディオデータに保存されます。

---

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

---

## SAMPLE POOL からサンプルを選んでサンプルスロットにロードする

- 1 SOUND ページで **A** ノブ押し、TAG SEARCH を表示。

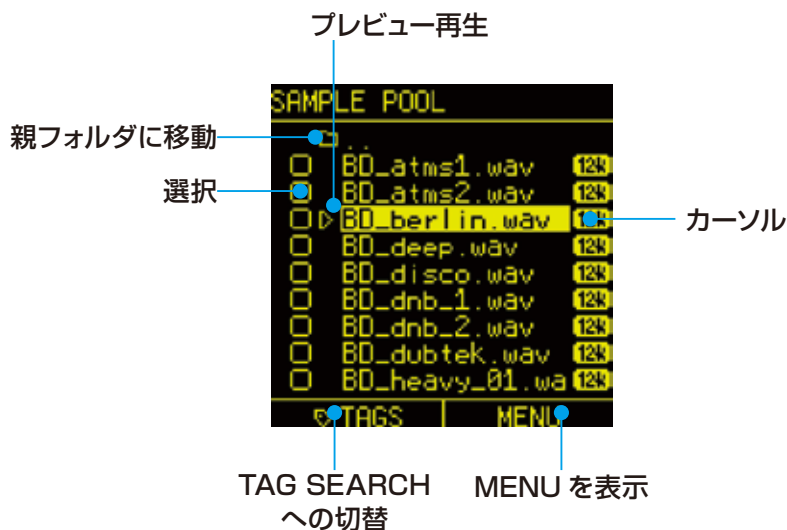


- 2 **BROWSE** ボタン左 **BROWSE** を押し、SAMPLE POOL を表示する。

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

## SAMPLE POOL の基本操作

目的のサンプルが分かっている場合やフォルダ内のファイルを全てサンプルスロットにロードしたい場合は、SAMPLE POOLでのファイル選択が便利でしょう。



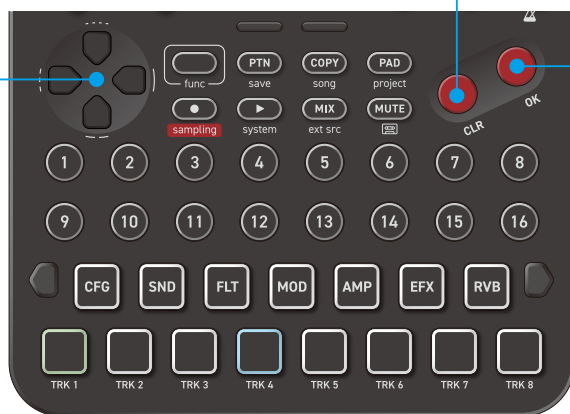
### カーソルの移動

カーソルをプレビュー再生に合わせて、サンプルをプレビュー再生します。左キーを押すと、もう一度再生できます。

### CLR ボタン 親フォルダへ移動

### OK ボタン

サンプルを選択します。押しながらカーソルを移動すると連続で選択できます。




# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

---

## SAMPLE POOL の基本操作

SAMPLE POOL MENU	
LOAD SELECTED	選択したサンプルをトラックとサンプルスロットにロードします。
FILE NAME SEARCH	表示しているフォルダ内を対象にして、ファイル名を検索します。
SELECT ALL	表示しているフォルダ内のサンプルを全て選択します。
DESELECT ALL	全てのサンプルの選択を取り消します。
DELETE	選択したサンプルファイルを削除します。






- ・SAMPLE POOL でフォルダを開き、 オグジュアリーボタン左 **TAGS** を押して TAG SEARCH にすると、フォルダ内のファイルのみ TAG 検索対象にすることができます。
-





# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

---

## ファイルをサンプルスロットにロードする

- 1 サンプルを選択して  ボタンを押す。
- 2  オグジュアリーボタン右を押して MENU を表示する
- 3 LOAD SELECTED を選択して、 ボタンを押す。

## ファイルを削除する

- 1 サンプルを選択して  ボタンを押す。
- 2  オグジュアリーボタン右を押して MENU を表示する
- 3 DELETE を選択して、 ボタンを押す。
- 4 YES を選択して、 ボタンを押す。



---

・削除したファイルは元に戻せないなので、この操作は慎重に行ってください。

---

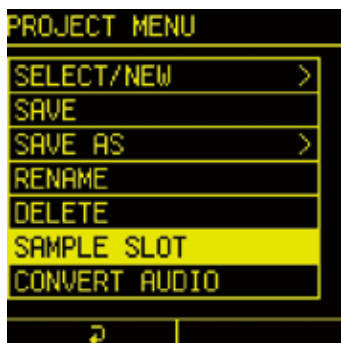
# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

PROJECT MENU の SAMPLE SLOT では、任意のサンプルスロットにサンプルをロードすることができます。

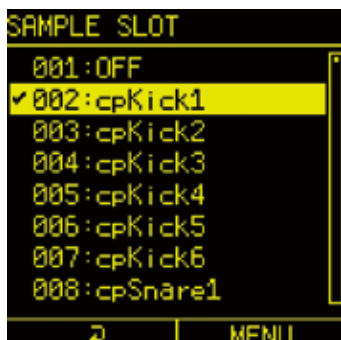
また、サンプルスロットにロード済みのサンプルを取り消すこともできます。

## 任意のサンプルスロットにサンプルをロードする

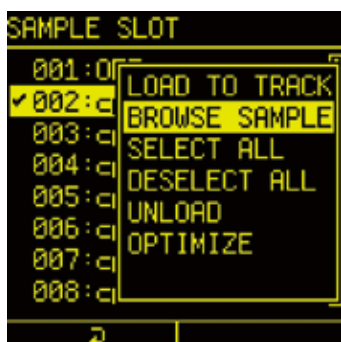
- 1 PROJECT MENU で SAMPLE SLOT を選択。



- 2 サンプルをロードしたいサンプルスロットを選択して **OK** ボタンを押す。  
既にサンプルがロードしてあるスロットを選択した場合、選択中のスロットより大きい番号のうち最も近い番号の EMPTY にロードされます。



- 3 **OK** ボタン右 **MENU** を押し、BROWSE SAMPLE を選択して、**OK** ボタンを押す。



(→ P.57) の SAMPLE POOL からのサンプルのロード手順で、選択したサンプルスロットにロードできます。

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

SLOT MENU	
LOAD TO TRACK	選択しているサンプルスロットを選択中のトラックにロードします。 1つのスロットを選択している場合に使用できます。
BROWSE SAMPLE	SAMPLE POOL に入場します。
SELECT ALL	全てのサンプルスロットを選択します。
DESELECT ALL	全てのサンプルスロットの選択を取り消します。
SELECT UNUSED	プロジェクトで使用していないすべてのサンプルスロットを選択します。
UNLOAD	選択したサンプルスロットからサンプルのロードを取り消します。
OPTIMIZE	サンプルのロードと取り消しによって発生したサンプルスロット・メモリ (64MB) のデフラグを行い、空き容量を確保します。

# サンプルのセットアップ – サンプルスロットへのロード

## オーディオファイルのデータベースを更新する

オーディオファイルの追加やプロジェクトデータのシェアを行った場合は、オーディオファイルのデータベースを更新してください。

- 1 SOUND ページで **A** ノブを押し、TAG SEARCH を表示。



- 2 **B** ノブを押し。

- 3 YES を選択し、**OK** ボタンを押してデータベースを最新の状態に更新する。



- ・このデータベースの更新を行わないと、新しく追加したオーディオファイルは SAMPLE POOL/TAG SEARCH に表示されません。
- ・更新処理は、通常 3 分程度かかります。  
カード内のオーディオファイル数が多い場合は、それ以上の時間がかかります。



# 各パラメーターパッドの機能 / CFG (Config) ページ

CONFIG ページでは、各トラックの発音設定、ステップシーケンサーの設定、シーケンスエフェクトの設定を行います。

 パッドを押して、CONFIG ページを表示します。

## シーケンサーの設定



CONFIG		
 A ノブ	LEN	<b>1 ~ 128:</b> シーケンサーのステップ数
 B ノブ	NOTE	<b>1 ステップのノートの長さ:</b> <b>1/1</b> (全音符) <b>1/2</b> (2分音符) <b>1/4</b> (4分音符) <b>1/2T</b> (4分3連符) <b>1/8</b> (8分音符) <b>1/4T</b> (8分3連符) <b>1/16</b> (16分音符) <b>1/8T</b> (8分3連符) <b>1/32</b> (32分音符) <b>1/16T</b> (16分3連符) <b>1/64</b> (64分音符)

# CONFIG (Config) ページ

ⓄC ノブ	TRANSP	<b>-24 ~ +24:</b> トラックのトランスポーズ設定 (半音単位) トランスポーズ設定を 15 パッドに反映させたくない場合は、SYSTEM MENU > PAD の <b>TRANSP</b> を <b>OFF</b> にしてください。
ⓄD ノブ	CHOKE	<b>OFF:</b> チョークグループを設定しません。  <b>SELF:</b> 同一ノートがリトリガーされた時に発音しているボイスをノートオフします。  <b>1 ~ 4:</b> 同一チョークグループ内のいずれかのトラックがトリガーされたとき、チョークグループ内で発音中の別トラックをノートオフします。



- ・ ⓄA ノブを回すとステップが 1、16、32、48、64、80、96、112、128 の順で変化し、ⓄA ノブを押すことで 1 ずつ増やすことができます。

## シーケンスを拡張コピーする

作成したシーケンスを複製することができます。

- 1 **func** を押しながら ⓄA ノブを回して複製する。  
複製するたび LEN が 2 倍になります。

# CONFIG (Config) ページ

## シーケンスエフェクトを設定する

Lofi-12 XT は、フレーズのランダムイズが可能なランダム機能、押しているステップをリピート再生するスタッター機能、ノートの発音確率を設定できるダイス機能を搭載しています。

SEQ MODE		
Ⓐ ノブ	SWING	<b>PTN:</b> テンポメニューで設定した SWING 量に従います。  <b>0% ~ 75%:</b> トラックのスウィング量の設定。 テンポメニューで設定した SWING は無視されます。
Ⓑ ノブ	RND STP (RANDOM 選択時に有効)	<b>OFF、1 ~ 16:</b> ランダム再生時にランダムイズする最小ステップ単位の設定
Ⓒ ノブ	DICE	<b>25% ~ 100%:</b> ノートの発音確率を 25 ~ 100% の範囲で調整
Ⓓ ノブ	Q-TIZE	<b>0% ~ 100%:</b> ノートのマイクロタイミングのクオンタイズを調整 0% でクオンタイズが無効になり、記録されたマイクロタイミング通りにシーケンスが再生されます。 100% でクオンタイズが拍子と同一になります。
○ オグ ジュアリー ボタン右	SEQ MODE	<b>NORMAL:</b> 通常のシーケンス再生をします。  <b>RANDOM:</b> シーケンスフレーズのランダムイズ再生をします。  <b>STUTTER:</b> 押しているステップをリピート再生します。

# SND (Sound) ページ

SOUND ページでは、サンプルの設定やボイスモードの設定を行います。

 パッドを押して、SOUND ページを表示します。


 ノブや  オグジュアリーボタンでパラメーターを編集します。

## サンプルを編集する



SOUND		
 A ノブ	SAMPLE SLOT	<b>1 ~ 256:</b> サンプル (スロット) の選択  を押しながらか押し込み、サンプルスロットを表示させて選択することも可能です (  A ノブ押し込みまたは  OK で確定、  CLR でキャンセル)。
 B ノブ	PITCH	<b>-1200 ~ +1200:</b> ピッチの編集 ゆっくり回すと 1 セントずつピッチ変更できます。
	SEMITONE	<b>-12st ~ +12st:</b> セミトーンの編集 上下 12 半音の範囲で変更できます。
	REPITCH TO TEMPO	<b>HALF、1BAR、2BARS、3BARS、4BARS、8BARS:</b> 選択範囲の小節数を設定することで、サンプルがテンポに合った長さになるようにピッチが変更されます。 <b>サンプルは常に上下 1 オクターブ内でピッチ変更されます。</b>




# SND (Sound) ページ

 B ノブ押込	PITCH/REPITCH TO TEMPO の切り替え	
 B ノブ押込	PITCH/SEMITONE の切り替え	
 C ノブ	START	サンプルの再生開始位置の編集
 D ノブ	END (LENGTH)	サンプルの再生範囲の編集
 オグジュアリーボタン右	サンプル再生モードの切り替え	<p><b>1SHOT:</b></p> <p><input type="checkbox"/>トラックパッドを押すと、サンプルを START から END (LENGTH) まで再生します。</p> <p><b>1SHOT (REVERSE) :</b></p> <p><input type="checkbox"/>トラックパッドを押すと、サンプルを END (LENGTH) から START まで再生します。</p> <p><b>LOOP:</b></p> <p><input type="checkbox"/>トラックパッドを押している間、サンプルの START から END (LENGTH) で設定した範囲をループ再生します。</p> <p><b>LOOP (REVERSE) :</b></p> <p><input type="checkbox"/>トラックパッドを押している間、サンプルの END から START (LENGTH) で設定した範囲をループ再生します。</p>

# SND (Sound) ページ



---



- ・再生モードを 1SHOT/1SHOT (REVERSE) に変更すると、AMP の ENV が自動的に ON になります。ドラムループ等、サンプルをリリースせずに最後まで鳴らしたい場合は、AMP ENV を OFF に設定してください。LOOP に変更すると、AMP の ENV が自動的に OFF になり、いわゆるゲート再生されます。パッドを離れた時にサウンドをリリースさせたい場合は、AMP ENV を ON に設定してください。
  - ・A ノブを押し込むことで TAG SEARCH が表示され、サンプルをサンプルスロットにロードすることができます。  
TAG SEARCH に関しては (→ P.53)
  - ・C、D ノブを押し込むことで波形の拡大、縮小モードになります (虫眼鏡アイコンが点灯します)。
-

# SND (Sound) ページ

## 1SHOT/LOOP 設定と AMP エンベロープ設定の ON/OFF による再生方法の違い




1SHOT/ LOOP 設定	AMP エンベロープ設定	再生
	ON	通常のワンショット再生。パッドから指を離すと、AMP エンベロープ設定に従って音が消えてゆきます。
	OFF	ワンショット再生で、パッドから指を離してもサンプルのエンド(レンジ)設定まで音が再生されます。最初のステップキーにノートを入力するだけで、簡単にサンプル全体をループ再生させることができます。
	ON	パッドを押している間、サンプルのスタート/エンド(レンジ)範囲が繰り返し再生されます。パッドから指を離すと AMP エンベロープ設定に従って音が消えてゆきます。シングルサイクルのサンプルを鳴らしたい場合等に適しています。
	OFF	ゲート再生。パッドを押している間だけ音が再生され、指を離すとすぐに音が切れます。

# SND (Sound) ページ


## トラックのボイスモードを設定する

SOUND ページで  オグジュアリーボタン左 **VOICE** を押します。




VOICE		
 A ノブ	VOICE	<b>MONO、POLY、SLICE:</b> ボイスモードの選択
 B ノブ	GLIDE (VOICE が MONO の時)	<b>0 ~ 127:</b> GLIDE の設定
	ARP (VOICE が POLY の時)	<b>OFF:</b> アルペジエーター再生をしません  <b>UP、DOWN、UPDOWN、 DOWNUP UP-DOWN、DOWN-UP、 RANDOM、UP1OCT、 UP2OCT、DOWN 1OCT、 DOWN2OCT、ORDER:</b> 「アルペジエーターの設定」参照 (→ P.73)
 C ノブ	12BIT	<b>ON、OFF:</b> 12 ビットサンプラーモードのオンオフ ON にするとビットレートを 12bit に 落とし、古いサンプラーのサウンドを 再現します。

# SND (Sound) ページ

VOICE		
 D ノブ	VELOCITY SENSITIVITY	<p><b>0 ~ 127:</b>            トラックのベロシティ感度の設定            数値が大きくなるにつれてベロシティ            範囲が大きくなります            0 にすると常にベロシティ 127 で発            音します   D ノブを押し込むことで一度に 0 に            設定します            本体のベロシティー設定につい            ては「パッド感度を変更する」を参照            (→ P.158)</p>
 オグジュア リーボタン右	LEGATO (VOICE が MONO の時)	<p><b>OFF:</b>            リトリガーありの 1 ボイス出力</p> <p><b>ON:</b>            リトリガー無しの 1 ボイス出力</p>
	SLICE (VOICE が SLICE の時)	SLICE/CHOP 画面を表示


# SND (Sound) ページ

## グライドの設定 (MONO のとき)

ボイスモードを MONO に設定することで、グライドを設定することができます。  
また  オグジュアリーボタン右を押して、LEGATO をオンにすることでリトリガー無しの 1 ボイス出力にすることができます。

## アルペジエーターの設定 (POLY のとき)













ボイスモードを POLY に設定することで、アルペジエーター機能を使用することができます。

PAD モードで  15 パッドを複数押さえると、現在の BPM (→ P.21) と NOTE (→ P.64) の設定にシンクロして 1 音ずつ発声していくアルペジエーターです。

アルペジエーターのタイプに沿ったシーケンスを行います。

PLAY ORDER タイプは、 15 パッドの押下順番通りにシーケンスします。

アルペジエーターが設定されたトラックは、D-pad のロール機能が無効になります。

ARPEGGIATOR			
UP		RANDOM	
DOWN		UP1OCT	
UP DOWN		UP2OCT	
DOWN UP		DOWN1OCT	
UP&DOWN		DOWN2OCT	
DOWN&UP		PLAY ORDER	 鍵盤の押下順番 通りに発音

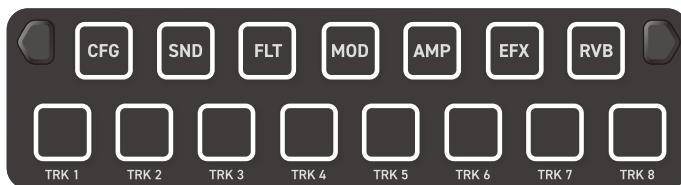
# SND (Sound) ページ

## スライスモード

ボイスモードを SLICE に設定することで、サンプルを最大 16 個のスライスに分割できます。

オートスライス機能を使用すれば、波形を分析して自動でスライスを作ることができます。

スライスされたサンプルは、アサイン先の  15 パッド、**RVB** +  ページスイッチ右ごとにレベルとピッチを調整することができます。



- ・スライスは  TRK1 ~  TRK8、 CFG ~  RVB、**RVB** +  ページスイッチ右の順番でアサインされます。
- ・PAD モードと MUTE モード (→ P.31) を併用することで、選択したスライスをミュートすることができます。

# SND (Sound) ページ

## サンプルをスライスする (MANUAL スライス)

- 1 VOICE ページで **A** ノブを回して、SLICE を選択。



- 2 **O** オグジュアリーボタン右 **SLICE** を押す。



- 3 以下の方法でスライスを作成する。

CHOP/SLICE	
<b>A</b> ノブ	ロケーターの移動
<b>A</b> ノブ押込	スライスポイントの追加
<b>B</b> ノブ	スライスポイントの移動
<b>C</b> ノブ	波形表示の移動
<b>D</b> ノブ	波形表示の拡大 / 縮小
<b>CLR</b>	スライスポイントの削除
<b>O</b> オグジュアリーボタン左 <b>M/A/E</b>	オートスライスモードに切り替え

# SND (Sound) ページ

---



- ・スライスポイントの追加は **OK** ボタンでも可能です。また、十字キーの左右でスライスポイントを選択できます。
  - ・サンプル再生中に任意のタイミングで **□ 15** パッド、**RVB** + **□ ページスイッチ右** を押すことでもスライスポイントを追加できます。
  - ・**□ 15** パッド、**RVB** + **□ ページスイッチ右** を押すことでスライスを選択します。
  - ・**START・END (LENGTH)** の範囲外に作成されたスライスは発音することができません。
-

# SND (Sound) ページ

## サンプルをスライスする (AUTO スライス)

- 1 VOICE ページで **A** ノブを回して、SLICE を選択。
- 2 **○** オグジュアリーボタン右 **SLICE** を押す。
- 3 CHOP/SLICE 画面で **○** オグジュアリーボタン左 **M/A/E** を押す。



- 4 以下の方法でスライスを作成する。

CHOP/SLICE	
<b>A</b> ノブ	感度の調整
<b>A</b> ノブ押込	オートスライスの実行
<b>B</b> ノブ	スライスポイントの移動
<b>C</b> ノブ	波形表示の移動
<b>D</b> ノブ	波形表示の拡大 / 縮小
<b>CLR</b>	スライスポイントの削除
<b>○</b> オグジュアリーボタン左 <b>M/A/E</b>	イーブンスライスモードに切り替え



- ・十字キーの左右でスライスポイントを選択できます。

# SND (Sound) ページ

## サンプルをスライスする (EVEN スライス)

サンプルをスタート位置から均等の長さにスライスします。

- 1 VOICE ページで **A** ノブを回して、SLICE を選択。
- 2 **○** オグジュアリーボタン右 **SLICE** を押す。
- 3 CHOP/SLICE 画面で **○** オグジュアリーボタン左 **M/A/E** を押して **E** を選択。





- 4 以下の方法でスライスを作成する。

CHOP/SLICE	
<b>A</b> ノブ	スライス開始位置の移動
<b>B</b> ノブ	1 スライス当たりの長さを調整
<b>C</b> ノブ	波形表示の移動
<b>D</b> ノブ	波形表示の拡大 / 縮小
<b>CLR</b>	スライスポイントの削除
<b>○</b> オグジュアリーボタン左 <b>M/A/E</b>	マニュアルスライスモードに切り替え

# SND (Sound) ページ

---



- ・  B ノブを調整することで最大 16 個のスライスに均等に分割します。
  - ・  D ノブで波形を拡大表示することで、より細かくスライス幅を調整することができます。
  - ・ 十字キーの左右でスライスポイントを選択できます。
-

# SND (Sound) ページ

---

## スライスのパラメーターを調整する

- 1 CHOP/SLICE ページで  オグジュアリーボタン右を押す。



- 2  を押して、PAD モードにする。



- 3 スライスがアサインされている  15 パッド、 +  ページスイッチ右を押して、編集したいスライスを選択。

# SND (Sound) ページ

4 以下の方法でスライスを編集する。

PAD MODE (SLICE)		
🔊A ノブ	CHOKE	<b>NONE、1 ~ 4:</b> スライスのチョークグループを設定します。
🔊B ノブ	編集対象の変更	<b>ALL:</b> 全てのスライスを一括で編集します。  <b>EACH:</b> 選択しているスライスのみ編集します。  同時押している場合、押下しているすべてのスライスが編集対象になります。
🔊C ノブ	PITCH	<b>-1200 ~ 1200:</b> スライスのピッチを設定します。
	SEMITONE	<b>-12st ~ +12st:</b> スライスのピッチを上下 12 半音の範囲で設定します。
func + 🔊C ノブ押込	PITCH/SEMITONE の切り替え	
🔊D ノブ	LEVEL	<b>0 ~ 127:</b> スライスの音量を設定します。



- ・画面上でカーソルの当たっているパッドの設定値が、選択中の他のスライスに反映されます。

# SND (Sound) ページ

---

## スライス情報をオーディオファイルに保存する

SLICE/CHOP ページで **func** + **OK** ボタンを押すと、編集したスライス情報を保存することができます。

保存したスライス情報はオーディオファイルに直接書き込まれるので、プロジェクトやパターンを変更した場合でも同じ設定で使用することができます。

- 1 **func** + **OK** ボタンを押す。



- 2 YES を選択してスライス情報を保存する。



- ・スライス情報をオーディオファイルに保存しない場合は、パターン SAVE 実行時にパターンに保存されます。
-

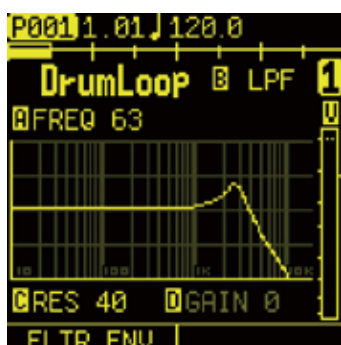
# FLT (Filter) ページ





FILTER ページでは、フィルターの設定を行います。

 パッドを押して、FILTER ページを表示します。

必要に応じて、 オグジュアリーボタンを押して編集したいパラメーターのページを表示します。

## フィルターを編集する



FILTER		
 A ノブ	FREQ	<b>0 ~ 127:</b> フィルターと EQ に適用する周波数
 B ノブ	TYPE	<b>OFF、LPF、HPF、BPF、LSF、HSF、PEQ:</b> フィルタータイプの選択
 C ノブ	RESONANCE (BPF : BAND WIDTH)	<b>0 ~ 127:</b> フィルターレゾナンス BPF と EQ を選択した場合、バンド幅 を調節します。
 D ノブ	GAIN (LPF、HPF、 BPF では無効)	<b>-63 ~ 0 ~ 63:</b> LSF、HSF、PEQ のゲイン量

# FLT (Filter) ページ

## フィルターのエンベロープを編集する




FILTER ENVELOPE		
Ⓐ ノブ	EG ATTACK	<b>0 ~ 127:</b> エンベロープのアタックの設定
Ⓑ ノブ	EG RELEASE	<b>0 ~ 127:</b> エンベロープのリリースの設定
Ⓒ ノブ 押込	ASR/AR	エンベロープを切り替えます  <b>ASR:</b> Attack Sustain Release タイプのエンベロープ  <b>AR:</b> Attack Release タイプのエンベロープ
Ⓓ ノブ	EG DELAY	<b>0 ~ 127:</b> エンベロープが開始されるまでの時間
Ⓔ ノブ	EG DEPTH	<b>0 ~ 127:</b> フィルターへかかるエンベロープモジュレーションの深さ
○ オグ ジュアリー ボタン右	EG INVERT	<b>OFF、ON:</b> エンベロープの反転

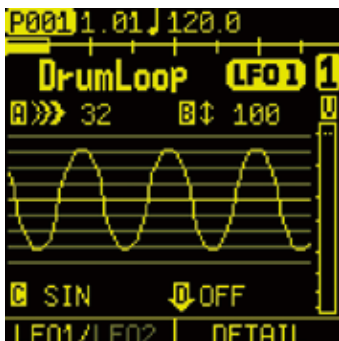
# MOD (Modulation) ページ

Lofi-12 XT には、アサイン先を選択可能な LFO が各トラックに 2 基搭載されています。

 パッドを押して、MOD ページを表示します。






必要に応じて、 オグジュアリーボタンを押して編集したいパラメーターのページを表示します。

## LF01 と 2 の切替、編集をする

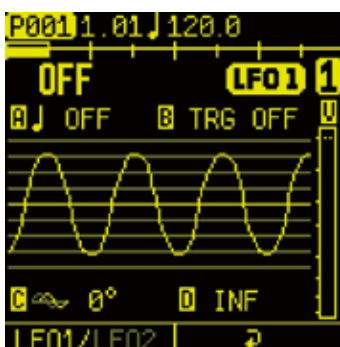


LFO1/2		
A ノブ	RATE	<b>0 ~ 127:</b> モジュレーションの速さ 0 ~ 30Hz の範囲で LFO の動作する周波数が変化します。
	SYNC SPEED (SYNC が OFF 以外の時)	<b>-63 ~ 0 ~ +64:</b> テンポを基準にした相対的な速さを調節します。
B ノブ	DEPTH	<b>0 ~ 127:</b> モジュレーションの深さ 値が大きいほど変化量が大きく、0 で全く変化しなくなります。

# MOD (Modulation) ページ

LF01/2		
 C ノブ	WAVESHAPE TYPE	<b>SIN、SQR、TRI、SAW、RSAW、RAND、SMRND、LOG、RLOG、PLS10、PLS25、PLS75、PLS90、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5、STEP6、STEP7:</b> LFO の波形タイプの選択
 D ノブ	ASSIGN	 D ノブ押込: モジュレーション対象の選択 (→ P.88)
		 D ノブ操作: モジュレーション対象パラメーターの調整
 オグ ジュアリー ボタン左	LF01/LF02	LF01 と LF02 の切り替え

# MOD (Modulation) ページ



MOD DETAIL		
Ⓐ ノブ	SYNC	<b>OFF</b> <b>1/1</b> (全音符) <b>1/2</b> (2分音符) <b>1/4.</b> (付点4分音符) <b>1/4</b> (4分音符) <b>1/8.</b> (付点8分音符) <b>1/2T</b> (4分3連符) <b>1/8</b> (8分音符) <b>1/16.</b> (付点16分音符) <b>1/4T</b> (8分3連符) <b>1/16</b> (16分音符) <b>1/8T</b> (8分3連符) <b>1/32</b> (32分音符) <b>1/16T</b> (16分3連符) <b>1/64</b> (64分音符)
Ⓑ ノブ	TRIG MODE	<b>TRG OFF:</b> リトリガーオフ  <b>0 ~ 100:</b> トリガーと同時に LFO がリスタート 数値が大きいほど最大値までのフェード イン時間が長くなります。
Ⓒ ノブ	PHASE	<b>0° ~ 359° :</b> LFO 開始位置の編集
Ⓓ ノブ	COUNT	<b>INF、1 ~ 50:</b> LFO 再生回数の設定

# MOD (Modulation) ページ

---

## モジュレーション可能なパラメーター

ASSIGN
PITCH
SAMPLE START
SAMPLE LENGTH
FLT FREQ
FLT RESO
LFO1 SHAPE
LFO1 DEPTH
LFO1 PHASE
LFO1 SYNC
LFO1 RATE
LFO2 SHAPE
LFO2 DEPTH
LFO2 PHASE
LFO2 SYNC
LFO2 RATE
AMP ATTACK
AMP RELEASE
AMP LEVEL
AMP PAN
SEND DELAY
SEND REVERB

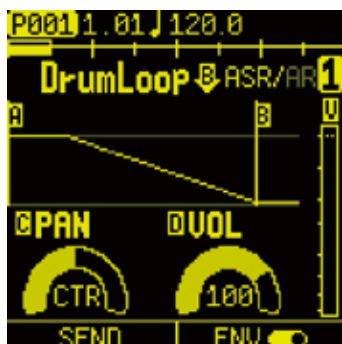
# AMP ページ




AMP ページでは、トラックのアンブエンベロープの設定等を行います。

 パッドを押して、AMP ページを表示します。



必要に応じて、 オグジュアリーボタンを押して編集したいパラメーターのページを表示します。

## エンベロープ、パン、ボリュームを編集する



AMP		
 A ノブ	EG ATTACK	<b>0 ~ 127:</b> エンベロープのアタック ノートオン後に VOL で設定した音量に 到達するまでの時間を設定します。
 B ノブ	EG RELEASE	<b>0 ~ 127:</b> エンベロープのリリース ノートオフ後に LEVEL が 0 になるま での時間を設定します。
 B ノブ押込	ASR/AR	エンベロープタイプを切り替えます。  <b>ASR:</b> Attack Sustain Release タイプのエ ンベロープ <input type="checkbox"/> トラックパッドを押している間は発音 を継続し、離してから RELEASE で設 定した長さを再生します。  <b>AR:</b> Attack Release タイプのエンベロープ トラックパッドを押している長さに関わ らず、RELEASE で設定した長さを再 生します。

# AMP ページ

 C ノブ	PAN	<b>L63 ~ CTR ~ R63:</b> トラックのパンの調整
 D ノブ	VOL	<b>0 ~ 127:</b> サウンドのボリューム アンプエンベロープの最大ボリュームを設定します。
 オグジュアリーボタン右	ENV	<b>ON:</b> アンプエンベロープを有効にします。  <b>OFF:</b> アンプエンベロープが無効になります。 ワンショットの場合、START/END (LENGTH) で設定したサンプル範囲を全て再生します。 ループの場合、トラックパッドを押している間のみサンプルをループ再生します。 (ゲート再生)

# AMP ページ

## SENDエフェクトへのSEND量を調整する



AMP		
Ⓐ ノブ	DELAY SEND	<b>0 ~ 127:</b> トラックのディレイエフェクトへのSEND量
Ⓑ ノブ	REVERB SEND	<b>0 ~ 127:</b> トラックのリバースエフェクトへのSEND量



- ・PAN、DELAY SEND、REVERB SEND はミキサーとパラメーターを共有しています。

# EFX (Effect) ページ

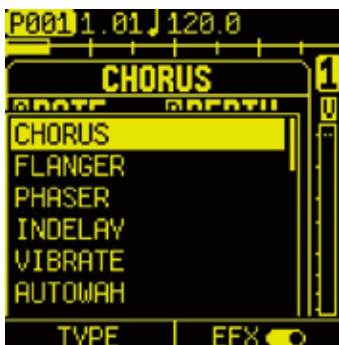
Lofi-12 XT は、各トラックに 1 つのインサートエフェクトを設定することができます。

## エフェクトを設定する

- 1  パッドを押して、EFX ページを表示。



- 2  オグジュアリーボタン左 **TYPE** を押して EFX TYPE を選択する。



- 3 使用したいエフェクトを選択して  ボタンを押す。

- 4  オグジュアリーボタン右を押して、EFX をオンにする。

# EFX (Effect) ページ

EFX TYPE				
EFX TYPE	A ノブ	B ノブ	C ノブ	D ノブ
CHORUS	RATE	DEPTH		MIX
FLANGER	RATE	DEPTH	FEEDBACK	MIX
PHASER	RATE	STAGE	INVERT	MIX
INDELAY	TIME	FEEDBACK	BPM SYNC	BALANCE
VIBRATO	RATE	DEPTH	BPM SYNC	
AUTO WAH	TYPE	SENS	DEPTH	Q
TREMOLO	RATE	DEPTH	BPM SYNC	
RING MOD	TYPE	RATE	DEPTH	MIX
DETUNE	RATE	DEPTH		MIX
OVER DRIVE	GAIN	TONE		LEVEL
CRUSHER	SAMPLE RATE	BIT RATE	CUTOFF	BALANCE
LO & HI EQ	LOW-FREQ	HIGH-FREQ	LOW-GAIN	HIGH-GAIN
LPF	CUTOFF	RESO		
HPF	CUTOFF	RESO		
BPF	CUTOFF	RESO		
ISOLATOR	CUTOFF	BALANCE		
TILT FILTER	CUTOFF	BALANCE		
VINYL NOISE	CUTOFF FREQ	CUTOFF LEVEL	NOISE LEVEL	
WOW & FLUTTER	WOW	FLUTTER		
S. MAXIMIZER	GAIN	FREQ		LEVEL
STOMP COMP	SENS	ATTACK		LEVEL
RACKCOMP	ATTACK	RELEASE	RATIO	THRESHOLD

# RVB (Reverb/Delay) ページ

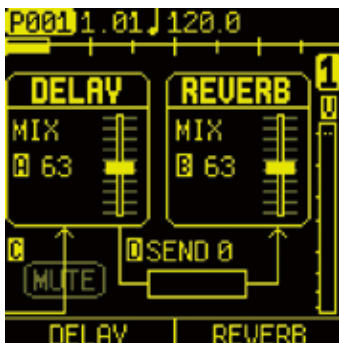
Lofi-12 XT は、センド専用の Delay と Reverb エフェクトが搭載されています。

AMP ページやミキサーでトラックごとにセンド量を調整可能です。

**RVB** パッドを押して、Reverb/Delay ページを表示します。

○ オグジュアリーボタン左を押して DELAY、または右ボタンを押して REVERB の編集を行います。

## Delay と Reverb を編集する



REVERB/DELAY		
Ⓐ ノブ	Delay Mix	<b>0 ~ 127:</b> Delay のミックス量
Ⓑ ノブ	Reverb Mix	<b>0 ~ 127:</b> Reverb のミックス量
Ⓒ ノブ	INPUT Mute	<b>OFF、ON:</b> Delay への入力をミュートします。
Ⓓ ノブ	Delay to Reverb Send	<b>0 ~ 127:</b> Delay から Reverb へのセンド量を調整します。

# RVB (Reverb/Delay) ページ



DELAY		
ノブ A	TIME	<b>0 ~ 127:</b> ディレイタイムの設定 BPM SYNC を設定すると、無効になります。
ノブ B	FEEDBACK	<b>0 ~ 127:</b> フィードバック量の設定
ノブ C	BPM SYNC	<b>OFF</b> 1/1 (全音符) 1/2 (2分音符) 1/4. (付点4分音符) 1/4 (4分音符) 1/8. (付点8分音符) 1/2T (4分3連符) 1/8 (8分音符) 1/16. (付点16分音符) 1/4T (8分3連符) 1/16 (16分音符) 1/8T (8分3連符) 1/32 (32分音符) 1/16T (16分3連符) 1/64 (64分音符)
ノブ D	WIDTH	<b>0 ~ 127:</b> エフェクト音のステレオ幅の調整 127 に設定するとピンポンディレイにすることができます。
○ オグジュアリーボタン右	GLOBAL OFF/ON	<b>OFF:</b> パターンに保存されている設定を使用します。  <b>ON:</b> 現在の設定がグローバル設定として保存され、使用されます。

# RVB (Reverb/Delay) ページ

REVERB		
🔊A ノブ	PRE DELAY	<b>0 ~ 127:</b> プリディレイの発生時間の設定
🔊B ノブ	DECAY	<b>0 ~ 127:</b> ディケイタイムの設定
🔊C ノブ	LO CUT	<b>0 ~ 127:</b> ローカット EQ のゲイン調整 数値が大きいほどローカットします。
🔊D ノブ	HI DAMP	<b>0 ~ 127:</b> 高音域の減衰量の調整 数値が大きいほど高音域の減衰量 が少なくなります。
<input type="checkbox"/> オグジュアリー ボタン右	GLOBAL OFF/ON	<b>OFF:</b> パターンに保存されている設定を使用します。  <b>ON:</b> 現在の設定がグローバル設定として 保存され、使用されます。

# パターンの作成 / ステップシーケンサーの概要

## 概要

Lofi-12 XT のステップシーケンサーは、演奏情報やパラメーター情報を格納した複数のステップ（シーケンス）を順番に再生していきます。



ステップはノート情報、パラメーター情報を格納しています。

シーケンスは複数のステップをまとめたものです。



シーケンサーはステップ1から順番に再生していきます。

Lofi-12 XT は、8トラックのシーケンサーを搭載しています。8つのシーケンサーでパターンを作成していきます。

## Lofi-12 XT のステップシーケンサーの特長

Lofi-12 XT に搭載されているシーケンサーには下記の特長があります。

### 3つの入力方式

#### ステップレコーディング

シーケンサーを停止させた状態で各ステップにノートを記録

#### リアルタイムレコーディング

パッドを演奏しながらノートをステップに記録

#### ダイレクトレコーディング

シーケンサー再生中でも直接ステップにノートを記録

# ステップシーケンサーの概要

---





## 自由度の高いシーケンス

### 最大 128 ステップシーケンス

トラックごとに 1 ~ 128 ステップまで自由にステップ数を設定可能

### さまざまなノート長に対応

1 ステップの長さを 1 小節から 64 分音符の長さまで自由に設定可能

 (赤点灯)	ノート情報
 (オレンジ点灯)	パラメーターロック情報
 (黄点灯)	ノート+パラメーターロック情報
 (黄緑点灯)	タイノート情報 (REC 赤点灯時に表示)



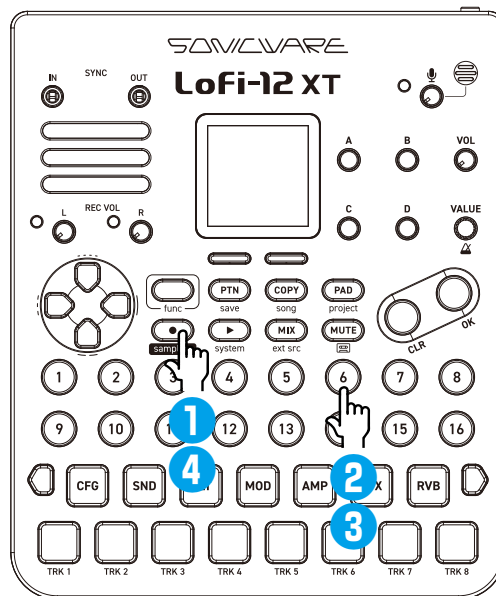
- ・シーケンサーの設定は CFG (Config) ページで行います。  
CFG (Config) ページについては (→ P.64)
  - ・Lofi-12 XT の最大同時発音数は 20 ボイスです。
-

# シーケンスの作成 –ステップレコーディング–

ステップレコーディングでは、再生を停止した状態でじっくりシーケンスを作成することができます。

## 基本操作

- 1 停止中に **●** を押す (赤点灯)。
- 2 入力したい位置の **●** ステップキーを押す。  
入力されているステップの LED は赤点灯します。  
再度、同じ **●** ステップキーを押すと削除されます。
- 3 手順2を繰り返し、シーケンスを作成する。
- 4 **●** を押しステップレコーディングを終了する。



- ・PAD モード中は選択した **●** ステップキーが緑点滅し、**□** 15 パッドを押すことでステップにノートが入力されます。ノートが入力されると、**●** ステップキーが緑と赤の点滅に変わります。
- ・PAD モード中は **CLR** ボタン+ **●** ステップキーを押してノートを削除します。

# シーケンスの作成 –ステップレコーディング–

---

## ステップ 17 以降の選択

手順1の後に、  ページ切替スイッチを押すことでステップ 17 以降を選択できます。

ページ切替スイッチを長押ししながら、青点灯したトラックパッドを押すことでも選択可能です。

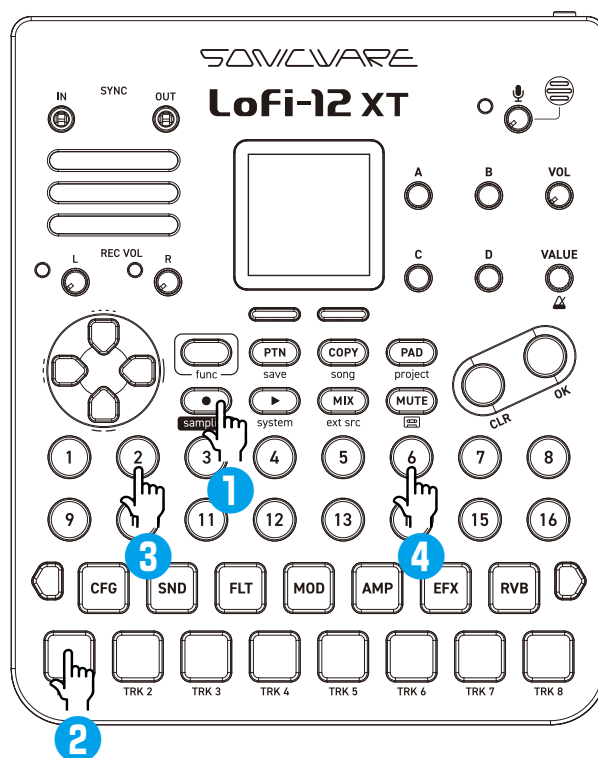


- ・ CONFIG ページの LEN の長さの設定によって、  ページ切替スイッチが有効 / 無効になります。
-

# シーケンスの作成 – ステップレコーディング –

## タイ付きノート（長音）を入力する

- 1 停止中に **●** を押しステップレコーディングを開始する（赤点灯）。
- 2 **□**トラックパッドを押しつづける。
- 3 ノートを入力開始したい位置の **●**ステップキーを押す。
- 4 ノートを終了したい位置の **●**ステップキーを押す。  
開始ステップから終了ステップまでのタイ付きノートが入力されます。





- ・タイノートは **●** 赤点灯時に **●**ステップキーが黄緑点灯して表示されます。  
**●** 消灯時は **func** + ノート入力済み **●**ステップキーを押すことで表示されます。
- ・PAD モード中は選択した **●**ステップキーが緑点滅し、**□** 15 パッドを押すことでステップにノートが入力されます。ノートが入力されると、ノートの開始ステップが緑と赤の点滅に、タイノートの終了ステップが緑と黄緑の点滅に変わります。
- ・PAD モード中は **CLR** ボタン + **●**ステップキーを押してノートを削除します。

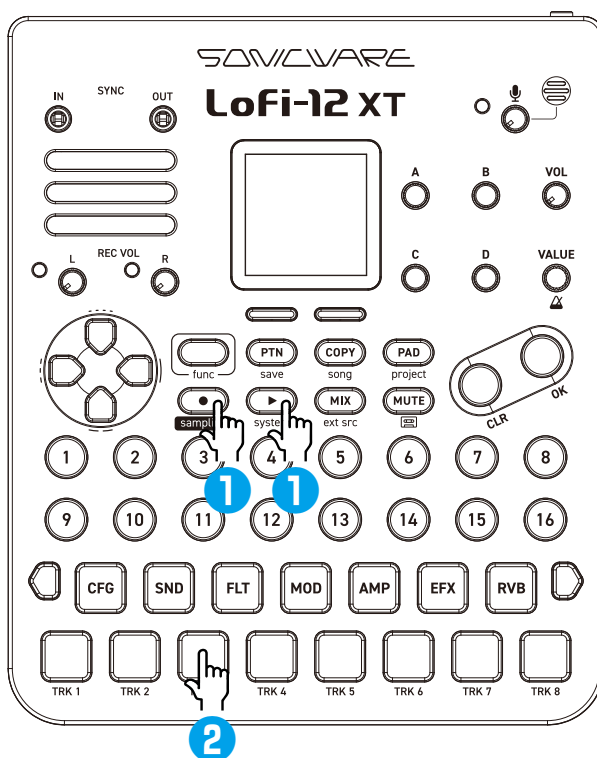
# シーケンスの作成 –リアルタイムレコーディング–








リアルタイムにパッドを演奏しながらシーケンスを作成することができます。

## 基本操作

1  を押したあと  を押す。

2 パターンが再生されるので入力したい位置で  トラックパッドを押す。



- ・リアルタイムレコーディング中にもう一度入力をやり直したい場合は、 +  トラックパッドを押すと、入力したノートを簡単に削除できます。PADモードでリアルタイムレコーディング中の場合は、 +  +  トラックパッドを押すと、入力したノートが削除できます。
- ・特定のステップのノートだけ削除したい場合は、 +  ステップキーを押します。

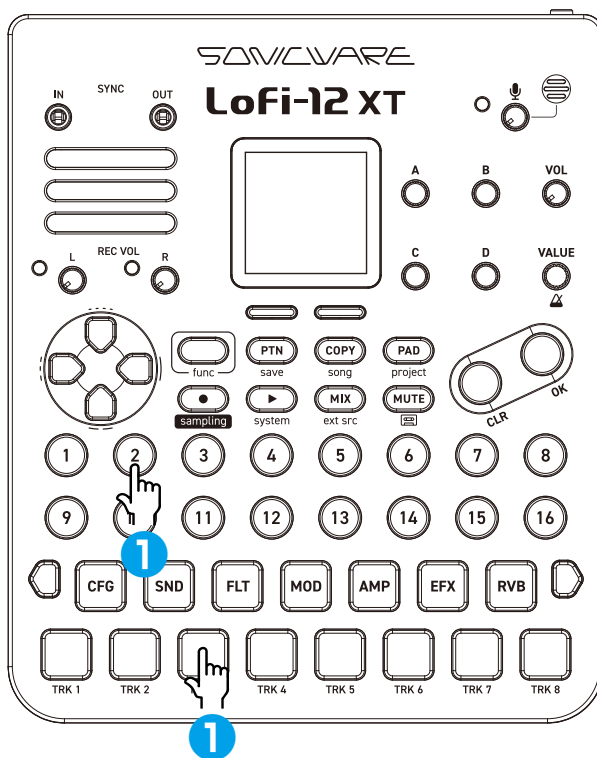
# シーケンスの作成 –ダイレクトレコーディング–

ダイレクトレコーディングでは、停止中、再生中どちらの状態でも直接ステップにノートを入力することができます。

特に再生中にノートを直接入力するやり方は、シーケンスをビルドアップしながらパフォーマンスすることに適しています。

## 基本操作

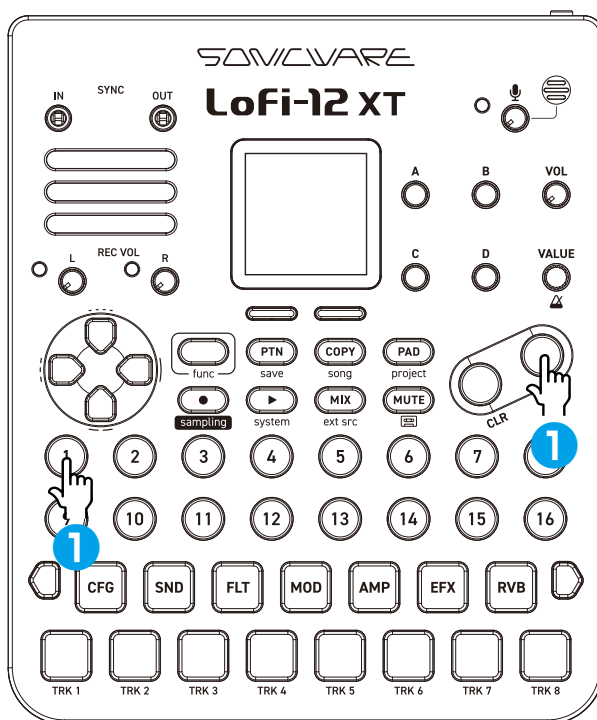
- 1 □トラックパッドを押しながら入力したい位置の●ステップキーを押してノートを入力する。



# シーケンスの作成 プレビュー

## ステップに入力されているノートを確認する

- 1 ● ボタンを押しながら、確認したい位置の●ステップキーを押す。  
押している間、そのステップに入力されているノート（パラメータロックを含む）を発音します。



- ・ ●ステップキーが点灯していない場合でも、タイノートが入力されている場合は発音することができます。
- ・ パラメータロックのみ入力されている場合は、次に PAD で発音する時にパラメータロックのみ反映して発音します。

# シーケンスの作成 プレビュー

---

## シーケンスを途中のステップから再生する (ロケート機能)

- 1 ●ステップキーを押しながら、▶を押す  
押しているステップからパターンの再生を開始します。

クロックソースの設定が MIDI の時、外部機器が送信した MIDI Song Position Pointer を受信することでも再生開始位置変更することができます。

MIDI Stop コマンドを受信した場合、次に MIDI Continue コマンドを受信すると停止した箇所から再生を再開します。



- ・途中のステップから再生を始める時、他のトラックでステップレングスが異なってる場合、他のトラックもあらかじめステップを進めて再生を開始します。
  - ・ソングの再生時はロケート機能は無効になります。
  - ・MIDI Song Position Pointer の送受信の設定を変更するには→ (P.00)
  - ・REC 点灯中は MIDI Song Position Pointer の受信が無効になります。
-

# シーケンスの作成 – ノートのクリアー


---

## ノートをクリアする

- 1  ボタンを押しながら、削除したい位置の●ステップキーを押す。

## タイノートをクリアする

- 1  を押す (赤点灯)。

- 2  ボタンを押しながら、削除したい位置の●ステップキー(黄緑点灯) を押す。  
押したステップから終端まで連続したタイノートをクリアします。  
開始ステップを押すと、タイノートを含むノート自体が削除されます。

# パラメーターロック

Lofi-12 XT は、ノブの操作をステップに記録することができるパラメーターロック機能を搭載しています。

時間の経過とともにサウンドを変化させることができ、表現力豊かなパターンの作成に役立ちます。

パラメーターロック情報の入力方法は下記 2 つの方法があります。

## ダイレクト入力

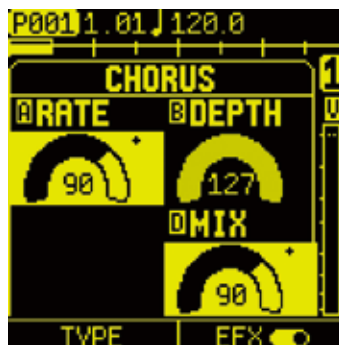
- ステップキー を押しながらノブを回して直接入力する基本的な方法

## リアルタイム入力

再生しながらリアルタイムにノブを操作し、その動きを記録する方法



パラメーターロックされているパラメーターは+マークが表示されます。

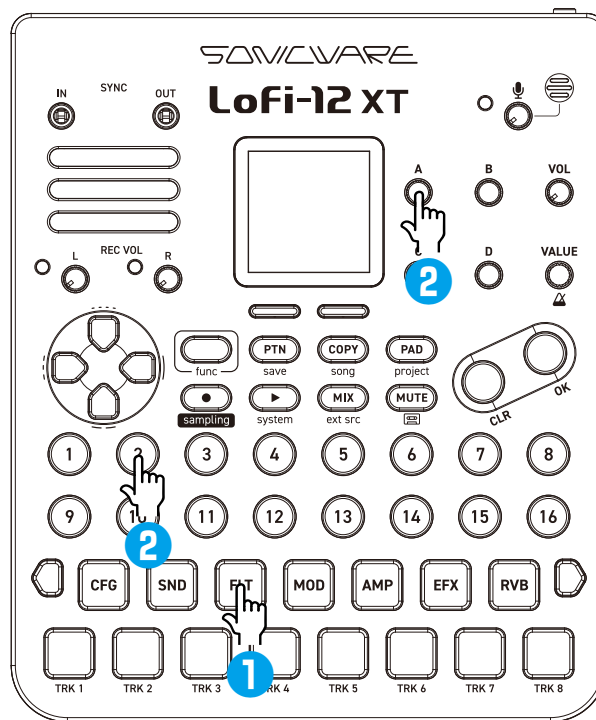


●ステップキーを押している間、パラメーターロックされたパラメーターは反転表示されます。

# パラメーターロック –ダイレクト入カー

## ダイレクト入力をする

- 1 □パラメーターパッド押して、パラメーターロックを記録したいページを表示。
- 2 ●ステップキーを押しながら、A～Dノブを操作。





# パラメーターロック –ダイレクト入カー


---



## パラメーターロックのクリア

パラメーターロックしたステップのクリア

- 1  +  パラメーターロック入力済みのステップキー（オレンジ点灯）を押す。




- ・NOTE とパラメーターロック情報の両方が入力されている  ステップキーは黄色点灯しています。

パラメーターロックのみ削除したい場合は、 +  ステップキーを押しSTEP DATA メニューから削除することができます。

STEP DATA メニューについては（→ P.111）





---

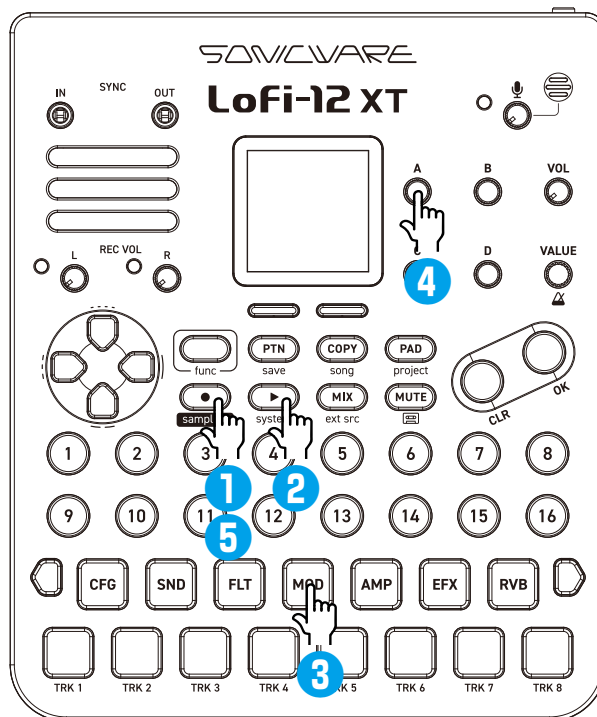
## 任意のパラメーターロック情報の一括クリア


- 1  を押しながらクリアしたい  A ~ D ノブを押す。  
選択しているトラックの該当するパラメーターロック情報が全て削除されます。

# パラメーターロック –リアルタイム入カー

## リアルタイム入力をする (パラメーター REC)

- 1 を押す (赤に点灯)。
- 2 を押しパターンを再生。
- 3 記録したい□パラメーターパッドを押す。
- 4 A ~ D ノブを操作して記録。
- 5 を押して、リアルタイム入力を終了する。



-  ボタン + □トラックパッドでトラックのノートやパラメーターロック情報を一括でクリアすることができます。

# シーケンスの編集

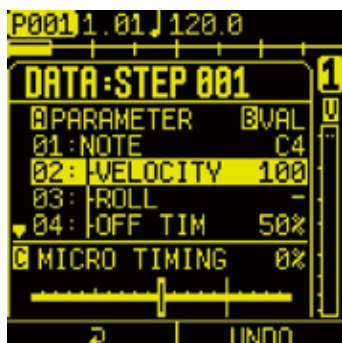
入力済みのステップを選択して、入力したノートやパラメーターロックなどを編集することができます。

## ステップデータを編集する

1 **func** + 入力済み ● ステップキーを押して、STEP DATA メニューを表示。

2 Ⓐ ノブで編集したいパラメーターを選択し、Ⓑ ノブでパラメーターを変更する。

**PAD** を押し、PAD モードにすることでステップに入力されているノートが □ 15PAD に緑点灯で表示されるようになります。  
現在画面上で選択しているノートは赤点灯で表示されます。



STEP DATA	
Ⓐ ノブ	データ選択
Ⓑ ノブ	パラメーターの変更
Ⓒ ノブ	MICRO TIMING の調整
○ オグジュアリーボタン右	UNDO、REDO
<b>func</b> + <b>CLR</b>	選択中のデータの削除



- ・ UNDO/REDO は直前に変更したパラメーターまたは削除したデータが対象です。
- ・ 十字キーの左右でステップの移動を行うこともできます。



# シーケンスの編集

## ステップデータを編集する

STEP DATA	
NOTE	
NOTE	入力されているノート (C-1 ~ G9)
VELOCITY	ノートのベロシティ
ROLL	ロール情報
OFF TIM	ノートオフのタイミング
SWP RNG	スウィープレンジ
SWP CRV	スウィープカーブ
SWP SPD	スウィープスピード
PRESSURE	ロール入力の強さ

# シーケンスの編集

PARAMETER			
CONFIG			
DICE	SWING		
SOUND			
SMPL	PITCH	START	LENGTH
GLIDE/ARP	12BIT	VELSNS	
SWEEP RANGE	SWEEP SPEED		
FILTER			
TYPE	FREQ	RESO	EG DPTH
EG DLY	EG ATK	EG DCY	F.GAIN
MOD			
SHAPE1&2	AMP1&2	PHASE1&2	RTRG1&2
SYNC1&2	RATE1&2	COUNT1&2	SYNC SPEED1&2
AMP			
VOL	PAN	ATTACK	RELEASE
DELAY	REVERB		
EFX			
EFX ページ参照 (→ P.93)			

# シーケンスの編集

## ステップのクリア

- 1 **CLR** ボタン+●ステップキーを押す。  
そのステップのノート情報やパラメーターロック情報が削除されます。

## スライスノートを一括でクリアする

- 1 ボイスモードがスライスに設定されているトラックで **PAD** を押して、PAD モード画面を表示する。
- 2 **CLR** ボタン+ シーケンスからクリアしたいスライス PAD を押す。  
対象スライスのノートがシーケンスから一括で削除されます。

## トラック情報をクリアする

- 1 **CLR** ボタン+□トラックパッドを押す。
- 2 削除したい項目を選択して、**OK** ボタンを押す。

CLEAR TRACK DATA	
ALL	トラックのパラメーターとシーケンスの全てを削除します。
PRM	トラックのパラメーターを削除します。
NOTE	ノート情報を削除します。
LCK	パラメーターロック情報を削除します。



- ・パラメーターパッドの設定を初期値に戻したい場合は、**CLR** ボタン+パラメーターパッドを押します。

# コピー機能

---

## トラックの設定を別のトラックにコピーする

1 **COPY** を押したまま (緑点灯)、コピーしたい **□** パラメーターパッドを押す。  
**COPY** がオレンジ色に点滅します。

2 もう一度 **COPY** を押したまま (赤点灯)、オレンジ色に点滅している **□** トラックパッドを押して、トラック設定をペーストする。



- ・ **CLR** ボタン + **COPY** で現在コピーしている内容をクリアすることができます。コピー内容をクリアしない限り、何度でも同じ内容をペーストすることができます。
- 

## トラックを別のトラックにコピーする

1 **COPY** を押したまま (緑点灯)、コピーしたい **□** トラックパッドを押す。  
**COPY** がオレンジ色に点滅します。

2 もう一度 **COPY** を押したまま (赤点灯)、オレンジ色に点滅している **□** トラックパッドを押して、トラック設定をペーストする。

## ステップをコピーする

1 **COPY** を押したまま、コピーしたい **●** ステップキーを押す (緑点灯)。  
**COPY** がオレンジ色に点滅します。

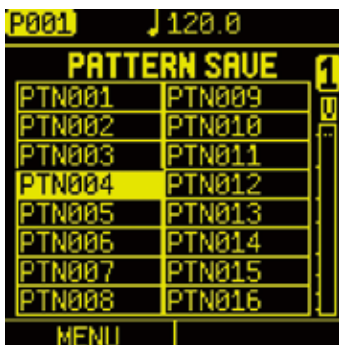
2 もう一度 **COPY** を押したまま (赤点灯)、**●** ステップキーを押してステップをペーストする。

# パターンの保存と管理

---

## パターンを保存する

- 1 **func** + **PTN** save を押して、PATTERN SAVE メニューを表示。
- 2 ●ステップキーを押して、保存先のパターンを選択する。  
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)  
「パターンの選択」参照 (→ P.18)
- 3 **OK** ボタンを押す。



- ・この方法でパターンのコピーも簡単にできます。
  - ・保存したパターンはプロジェクトを保存しないと失われてしまいます。電源を切る前に必ずプロジェクトを保存してください。  
「プロジェクトを保存する」(→ P.141)
  - ・誤ってパターンを保存してしまった場合は、プロジェクトのリロードを行うことで、パターンの保存を取り消すことができます。
  - ・プロジェクトを保存しただけでは、パターンは保存されません。それぞれ別々に保存する仕様であることに留意してください。
-

# パターンの保存と管理

## パターンをクリア（初期化）する

- 1 CLR ボタン + PTN を押す。
- 2 表示される項目から、クリアしたいものを選択して OK ボタンを押す。

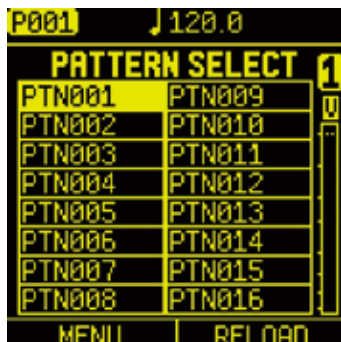


CLEAR PATTERN DATA	
ALL	パターンを初期化します。
PRM	トラック設定をクリアします。
NOTE	ノート情報をクリアします。
LCK	パラメーターロック情報をクリアします。

# パターンの保存と管理

## パターンをリネームする

- 1 **PTN** を押す。
- 2 **STEP** キーを押して、リネームするパターンを選択する。  
(STEP1 = パターン 1 ... STEP16 = パターン 16)



- 3 **OGJ** ボタン左 **MENU** を押し、PATTERN MENU を表示する。  
RENAME を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 リネームが完了したら、**OGJ** ボタン右 **OK** を押してリネームを保存する。

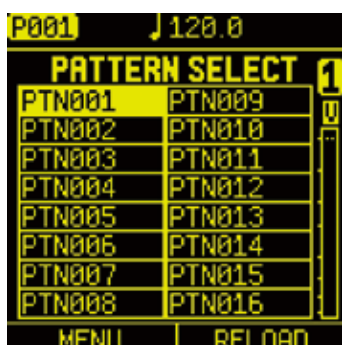


# パターンの保存と管理

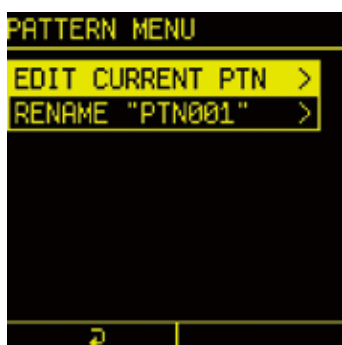
## パターン内のトラックを編集する

TRACK EDIT メニューを使うことでパターン内のトラックのスワップ、コピー、移動、クリアを行うことができます。

- 1 **PTN** を押す。
- 2 **●**ステップキーを押して、パターンを選択する。  
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)



- 3 **○** オグジュアリーボタン左 **MENU** を押し、PATTERN MENU を表示する。



- 4 EDIT CURRENT PTN を選択して **OK** ボタンを押し、TRACK EDIT メニューを表示する。
- 5 編集したい機能を選択して **OK** ボタンを押す。



# パターンの保存と管理

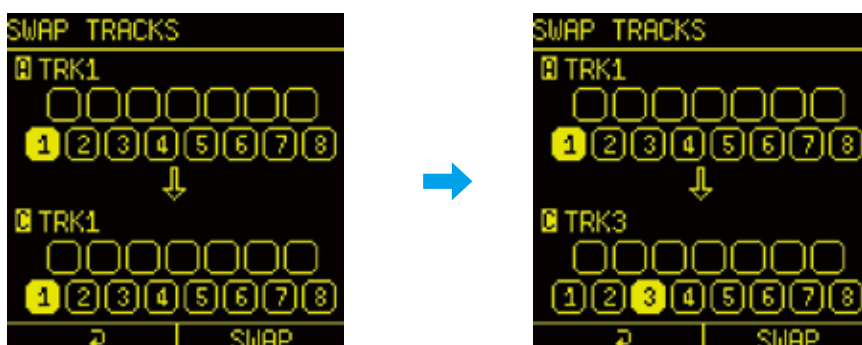
## トラックをスワップ(入れ替え)する

- 1 SWAP を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 **A** ノブを回して、入れ替えたいトラックを選択する。

- 3 **C** ノブを回して、入れ替え先のトラックを選択する。



- 4 **O** ジュアリーボタン右 **SWAP** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



・ Mixer 設定も入れ替わります。

# パターンの保存と管理

## トラックをコピーする

- 1 COPY を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 **A** ノブを回して、コピーするトラックを選択する。

- 3 **C** ノブを回して、ペーストするトラックを選択する。



- 4 **O**グジュアリーボタン右 **COPY** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



# パターンの保存と管理

## トラックを移動する

- 1 MOVE を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 **A** ノブ回して、移動したいトラックを選択する。

- 3 **C** ノブをまわして、移動先のトラックを選択する。



- 4 **O** グジュアリーボタン右 **MOVE** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



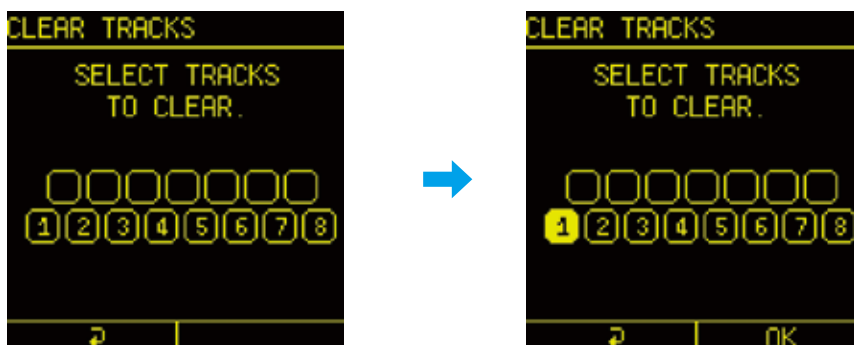
# パターンの保存と管理

## トラックをクリア (初期化) する

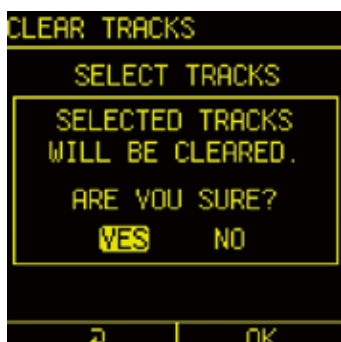
- 1 CLEAR を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2  トラックパッドを押してクリアしたいトラックを選択する。



- 3  オグジュアリーボタン右 **OK** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



# ソングの作成

---

Lofi-12 XT は、作成したパターンを指定して連続で再生することができるソング機能が搭載されています。

ループ回数、パターン毎の小節数やテンポを自由に指定して 1 つの楽曲を作り上げることができます。

## ソングを再生する

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 SONG を選択して、**OK** ボタンを押す。
- 3 **OK** + **▶** を押して、SONG を再生する。  
SONG 再生中は **▶** が黄点灯します。



- ・ SONG 再生中に **OK** + **PTN** を押すことで、再生中のパターンをループ再生できます。  
もう一度 **PTN** を押すことでソング再生に戻ります。
  - ・ SONG 再生中のパターンループは **PTN** が黄色点灯します。
-

# ソングの作成

## ソングを編集する

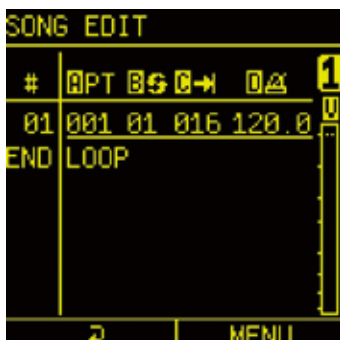
1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



2 編集したい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

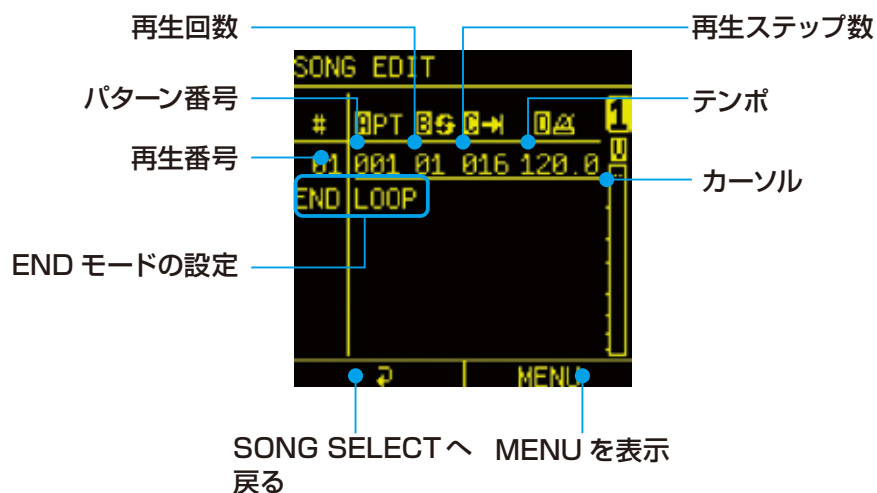


3 **EDIT** を選択し、**OK** ボタンを押して SONG EDIT を表示する。



# ソングの作成

## SONG EDIT の基本操作



### カーソルの移動

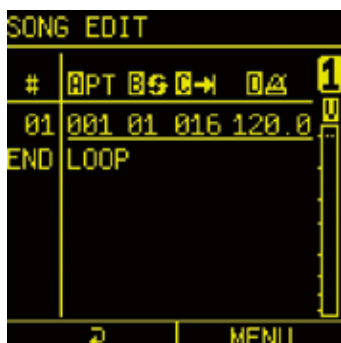
十字キーを押して、カーソルを上下左右に移動します。



# ソングの作成

## SONG EDIT の基本操作

- 1 ④A～D を操作してパターンを設定する。



- 2 ④オグジュアリーボタン右を押して、パターンの挿入、削除、有効 / 無効を設定をする。



### SONG EDIT MENU

INSERT	選択しているパターンの直後に新しいパターンを挿入します。
DELETE	選択しているパターンを削除します。
ENABLE	選択しているパターンの有効 / 無効を設定します。



- ・1つのソングに登録できるパターンは最大 99 個です。



# ソングの作成

SONG EDIT	
ⓂA ノブ	パターンの選択 (パターン名がポップアップ表示されます) (END モード選択時) <b>ONCE:</b> ソングの最終パターンの再生後、ソングをループ再生せずに停止します。 <b>LOOP:</b> ソングの最終パターンの再生後、#01 からループ再生します。
ⓂB ノブ	パターンの再生回数
ⓂC ノブ	パターンの再生ステップ数
ⓂD ノブ	パターンのテンポ

**3** 手順 1 ~ 2 を繰り返してソングを作成する。

**4** 編集が完了したら  オグジュアリーボタン左で SONG EDIT を終了する。



- ・  + ⓂC ノブを操作することで再生ステップ数を 16 ずつ変更できます。
- ・ SONG EDIT 中、任意の再生番号から再生したい場合は、カーソルを移動させて  を押します。

# ソングの作成

## ソングをリネームする

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 リネームしたい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

- 3 **RENAME** を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 名前をつけて、**○** オグジュアリーボタン右を押してリネームを完了する。



# ソングの作成

## ソングをクリアする

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。

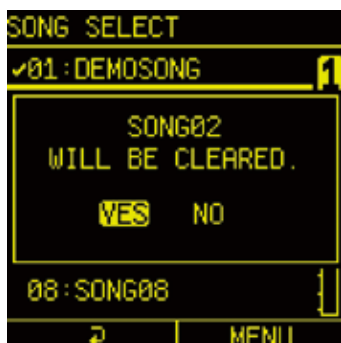


- 2 クリアしたい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

- 3 CLEAR を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 YES を選択して、**OK** ボタンを押す。

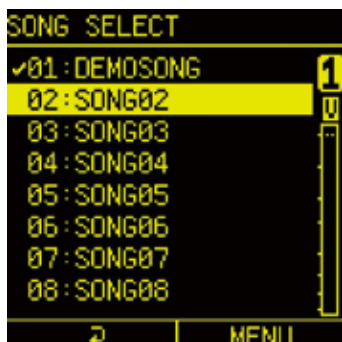


- ・一度クリアしたソングはプロジェクトからも削除され、元に戻せません。本操作は慎重に行ってください。

# ソングの作成

## ソングをコピーする

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。

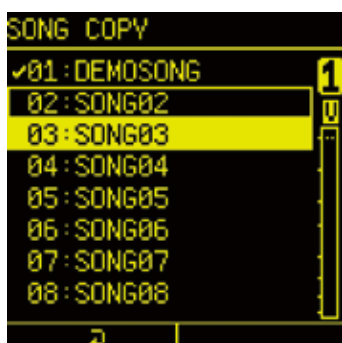


- 2 コピーしたい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

- 3 **COPY** を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 コピー先の SONG を選択して、**OK** ボタンを押す。



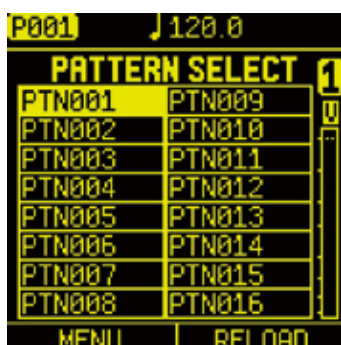
# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

オーディオエクスポート機能を使うことで、作成したパターンやソングをミックスダウンして、ステレオオーディオファイル（48kHz/16bit WAV データ）として書き出すことができます。

また、個別のトラック毎にオーディオ化することも可能です。

## パターンのオーディオエクスポート

- 1 **PTN** を押して、PATTERN SELECT メニューを表示。



- 2 **○** オグジュアリーボタン左 **MENU** を押して、PATTERN MENU を表示。

- 3 **AUDIO EXPORT** を選択して、**OK** ボタンを押す。



# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

## パターンをオーディオとして書き出す (MIX DOWN)

- 1 AUDIO EXPORT メニューで MIX DOWN を選択して、 ボタンを押す。



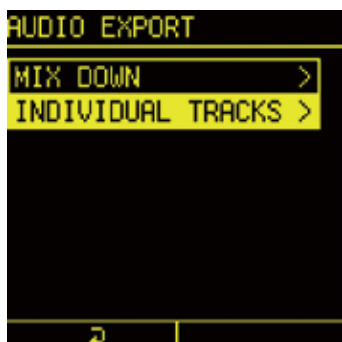
- 2 名前をつけて、 オグジュアリーボタン右を押して MIX DOWN を実行する。



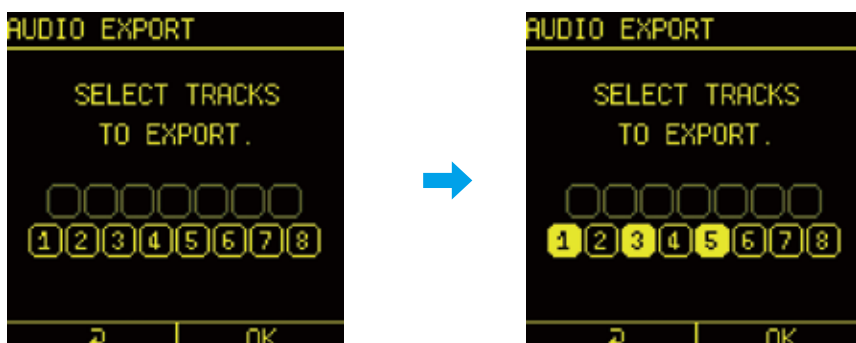
# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

## パターンのトラックをステムオーディオとして書き出す (INDIVIDUAL TRACKS)

- 1 AUDIO EXPORT メニューで INDIVIDUAL TRACKS を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 2 書き出したいトラックの  PAD を押して選択して、**OK** ボタンを押す。



# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

## ソングのオーディオエクスポート

- 1 **func** + **copy** を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 オーディオとして書き出したい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

- 3 **AUDIO EXPORT** を選択して、**OK** ボタンを押す。



# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

## ソングをオーディオとして書き出す (MIX DOWN)

- 1 AUDIO EXPORT メニューで MIX DOWN を選択して、 ボタンを押す。



- 2 名前をつけて、 オグジュアリーボタン右を押して MIX DOWN を実行する。



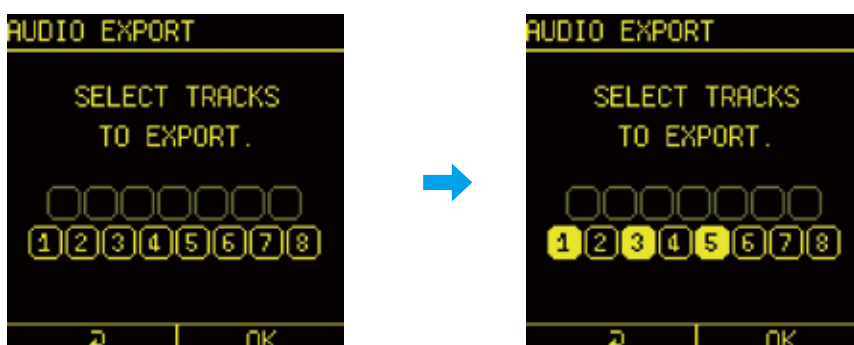
# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

## ソングのトラックをステムオーディオとして書き出す (INDIVIDUAL TRACKS)

- 1 AUDIO EXPORT メニューで INDIVIDUAL TRACKS を選択して、**OK** ボタンを押す。

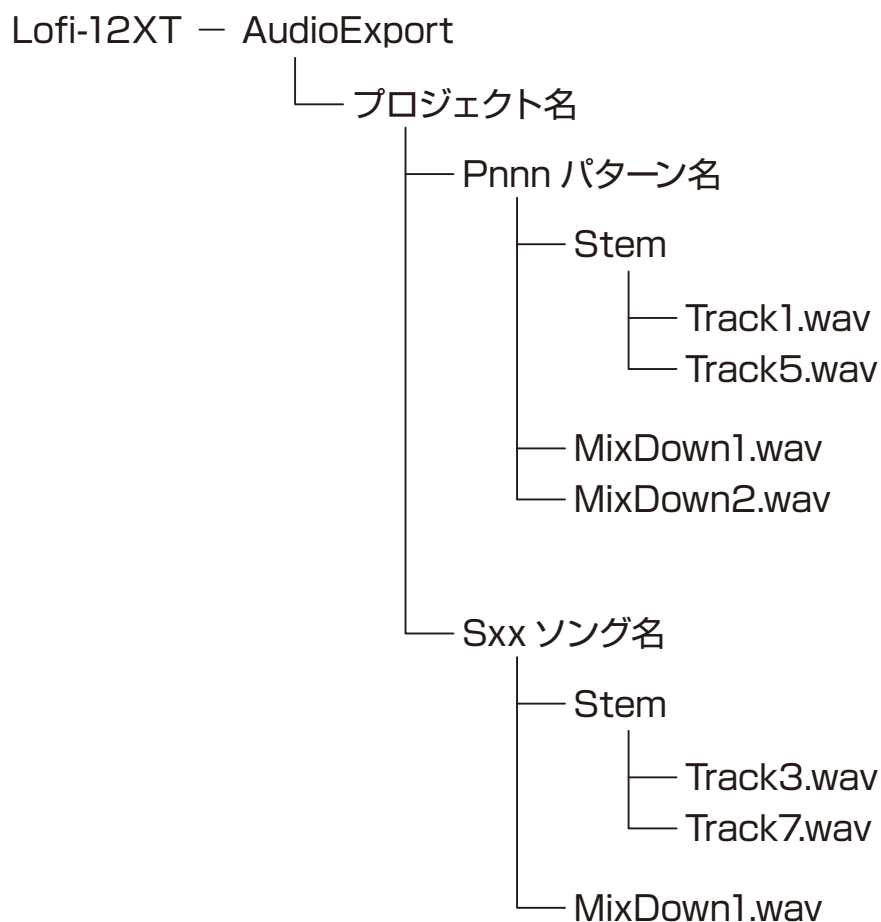


- 2 書き出したいトラックの PAD を押して選択して、**OK** ボタンを押す。



# パターンとソングの書き出し(オーディオエクスポート機能)

## オーディオエクスポートのファイル構造



nnn : パターン番号

xx : ソング番号



- ・書き出したオーディオファイルが PC/Mac で再生できます。  
Lofi-12 XT 本体では再生できません。

# プロジェクトの管理

プロジェクトメニューでは、プロジェクトの保存や削除、サンプルスロットの管理、オーディオファイルのコンバートなど行います。  
必要に応じてメニューを選択して実行します。

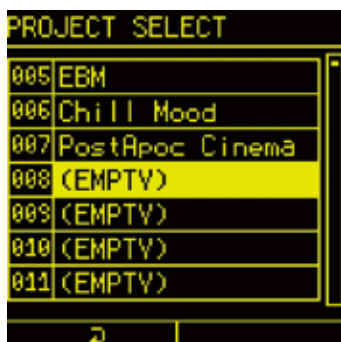
**func** + **PAD** project を押して、PROJECT MENU を表示します。

## 新規プロジェクトを作成する

- 1 PROJECT MENU で SELECT/NEW を選択。



- 2 EMPTY を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 3 現在のプロジェクトを保存する場合は YES を選択して、**OK** ボタンを押す。



# プロジェクトの管理

---

## プロジェクトを保存する

- 1 PROJECT MENU で SAVE を選択。



- 2 YES を選択して、 ボタンを押す。



- ・プロジェクトを保存しただけでは、パターンは保存されません。それぞれ別々に保存する仕様であることに留意してください。  
「パターンを保存する」(→ P.117)
-

# プロジェクトの管理

## 別のプロジェクトとして保存する

- 1 PROJECT MENU で SAVE AS を選択。



- 2 任意の保存先を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 3 十字キーと **OK** ボタンを押して名前を変更し、**○** オグジュアリーボタン右 **OK** を押す。





保存をキャンセルする場合は、**○** オグジュアリーボタン左の**戻る**を押します。

# プロジェクトの管理

## プロジェクトをリネームする

- 1 PROJECT MENU で RENAME を選択し、 ボタンを押す。



- 2 十字キーと  ボタンを押して名前を変更し、 オグジュアリーボタン右 OK を押して編集を完了する。



# プロジェクトの管理

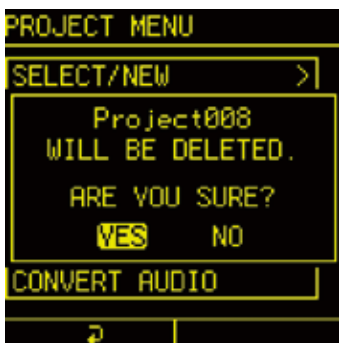
---

## プロジェクトを削除する

- 1 PROJECT MENU で DELETE を選択し、 ボタンを押す。



- 2 YES を選択して  ボタンを押す。



- ・削除したプロジェクトは削除前には戻せないなので、本操作は慎重に行ってください。
-

# MIX TAPE 機能

Lofi-12 XT は、再生中の音声をバックグラウンド録音することができる MIX TAPE 機能を搭載しています。



MIX TAPE		
Ⓐ ノブ	CASSETTE	MICRO、MICRO ST、Type I OLD、Type I、Type II、DAT： CASSETTE タイプの変更 (→ P.146)
Ⓑ ノブ	EXT SRC	<b>OFF、ON：</b> ON にすると外部入力音声も MIX TAPE に録音します。
Ⓒ ノブ	ENABLE	<b>OFF、ON：</b> ON に設定するとパターン再生時にバックグラウンド録音を開始します。
Ⓓ ノブ	MONITOR	<b>OFF、ON：</b> ON に設定すると MIX TAPE で録音されるサウンドをモニターします。


MIX TAPE を ENABLE に設定すると、右上に TAPE アイコンが表示され、バックグラウンド録音中は点灯してアニメーションします。



- ・ MIX TAPE 機能の録音は、再生の停止後、無音 (-100dB ほど) になると自動的に止まります。
- ・ 外部入力の音量は MIX TAPE の録音開始終了には影響しません。

# MIX TAPE 機能

## ミックステープのタイプを変更する

- 1  A ノブを回して、TYPE を変更する。

CASSETTE	
DAT	48k/16bit で録音された DAT コンパクトカセットの音質をシミュレート
TYPE II	ハイポジションのカセットテープの音質をシミュレート
TYPE I	ノーマルポジションのカセットテープの音質をシミュレート
TYPE I OLD	経年劣化したノーマルポジションのカセットテープの音質をシミュレート
MICRO ST	ステレオ録音に対応したマイクロカセットテープの音質をシミュレート
MICRO	マイクロカセットテープ(モノラル録音)の音質をシミュレート



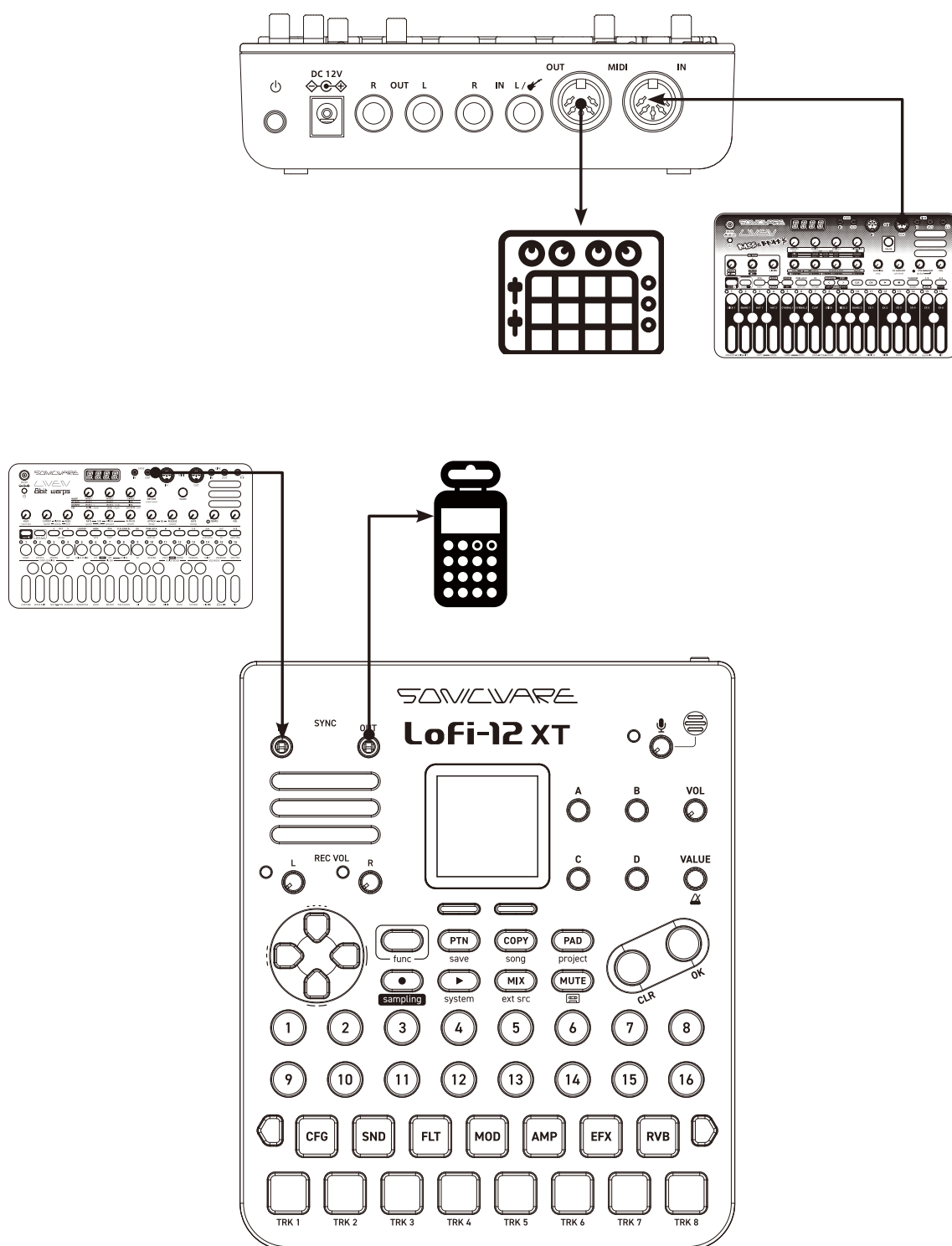
- ・MIX TAPE 機能の録音は、最大 3 時間まで、48kHz/16bit ステレオ WAV ファイルで記録されます。  
これらは "MixTape" フォルダ内に最大 20 ファイル (10 ファイル x 2 フォルダ) が保管され、このファイル数を超えた場合は、古いフォルダのファイルが全て消され、そこに新しいファイルが生成されます。
- ・外部記録カードの容量に 8GB 以上の空きがないと録音されません。

# 外部機器とのクロック同期

MIDI 端子 / SYNC 端子と、外部のシンセサイザーやドラムマシンなどを接続し、複数のデバイスを同期させて一緒に使うことが可能です。

## 外部機器との接続

- 1 MIDI 端子もしくは、SYNC 端子と外部機器を接続する。



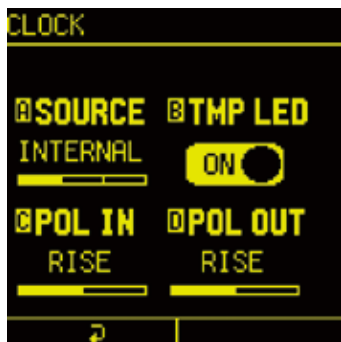
# 外部機器とのクロック同期

---

- 1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 CLOCK を選択し、**OK** ボタンを押し。



- 3 CLOCK 設定が表示されるので、各項目を設定する。



# 外部機器とのクロック同期

CLOCK	
SOURCE	<p><b>INTERNAL:</b> Lofi-12 XT の内部クロックで動作します。 単体で使う時や、外部デバイスと同期する場合は、 マスターとして動作します。</p> <p><b>MIDI:</b> MIDI IN から受ける MIDI クロックに同期します。</p> <p><b>SYNC:</b> SYNC IN から受けるクロック信号に同期します。</p>
TEMPO LED	同期しているテンポに合わせて、LED が光ります。 OFF に設定すると、通常再生での LED の点滅も 消えます。
POLARITY IN	SYNC IN 端子の極性を <b>RISE</b> (+ / 波形 の立ち上がり) と <b>FALL</b> (－ / 波形の立ち 下がり) で切り替えます。接続する外部デバイスの SYNC 極性と合わせてください。
POLARITY OUT	SYNC OUT 端子の極性を <b>RISE</b> (+ / 波 形の立ち上がり) と <b>FALL</b> (－ / 波形の立 ち下がり) で切り替えます。接続する外部デバイス の SYNC 極性と合わせてください。

# MIDI

## トラックの MIDI チャンネルを設定する

Lofi-12 XT の各トラックに、MIDI チャンネル番号を設定できます。

1 **func** + **▶ system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

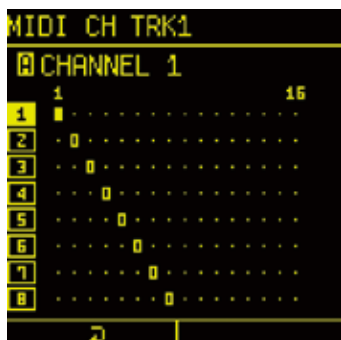
2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押して、MIDI SETTING を表示。



3 TRACK を選択し、**OK** ボタンを押す。



4 変更したいトラックを選択し、**ⓂA** ノブでチャンネルを変更する。



# MIDI

## 本体の MIDI チャンネル設定

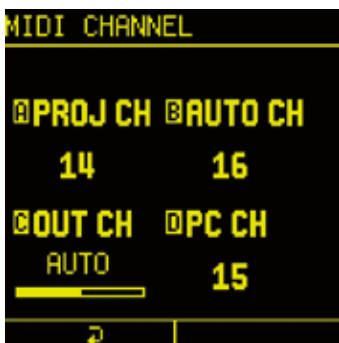
- 1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押して、MIDI SETTING を表示。



- 3 CHANNEL を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 4 変更したいノブを回して、設定する。



# MIDI

MIDI CHANNEL		
🗲A ノブ	PROJECT CHANNEL	パターンレベルなどプロジェクトに関するパラメーターの受信チャンネル
🗲B ノブ	AUTO CHANNEL	「OUTPUT CHANNEL」で AUTO にした時に、使用するチャンネル
🗲C ノブ	OUTPUT CHANNEL	送信に関するチャンネル  <b>AUTO:</b> Auto Channel 番号を使用する  <b>TRACK:</b> 各トラックに設定したチャンネル番号を使用する
🗲D ノブ	PROGRAM CHANGE CHANNEL	プログラムチェンジの送受信に使用するチャンネル

# MIDI

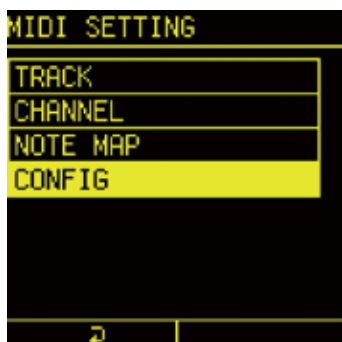
---

## その他の MIDI 設定を変更する

- 1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押して、MIDI SETTING を表示。



- 3 CONFIG を選択し、**OK** ボタンを押す。

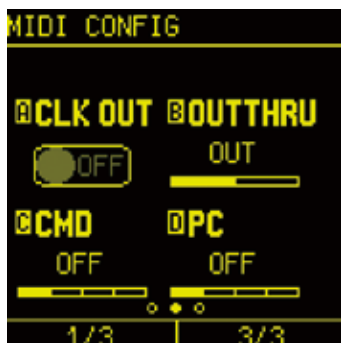


# MIDI



## MIDI CHANNEL 1/3

INPUT FROM	MIDI 受信する端子の切り替え
OUTPUT TO	MIDI 送信する端子の切り替え
TX NOTE	ノート情報の送信の ON / OFF
TX CONTROL CHANGE	コントロールチェンジの送信の ON / OFF



## MIDI CHANNEL 2/3

CLOCK OUT	クロック送信の ON / OFF
OUT / THRU	MIDI OUTと THRU の切り替え
COMMAND	コマンド情報の受信 (RX) と送信 (TX) の設定
PROGRAM CHANGE	プログラムチェンジの受信 (RX) と送信 (TX) の設定

# MIDI

---



MIDI CHANNEL 3/3	
ACTIVE SENSING	アクティブセンシングの受信 (RX) と送信 (TX) の設定
SPP	<b>OFF、RX、TX、RX.TX:</b> MIDI Song Position Pointer の受信(RX)と送信(TX) の設定



- ・REC 点灯中は MIDI Song Position Pointer の受信が無効になります。
-

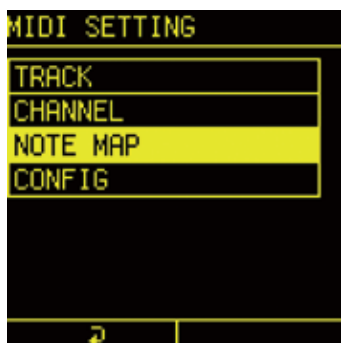
# MIDI

## MIDI NOTE MAP を編集する

MIDI NOTE MAP を編集することで、MIDI ドラムパッドなどの外部コントローラーから Lofi-12 XT をドラム音源モジュールとしてコントロールすることができます。



- 1 **func** + **▶** ボタンを押し、SYSTEM MENU を表示する。
- 2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押し、MIDI SETTING を表示。
- 3 NOTE MAP を選択し、**OK** ボタンを押し。



- 4 D-Pad か **□** TRACK PAD を押し、編集したいトラックを選択する。



# ミュートモードを変更する

ミュート使用時の動作を変更します。

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 TRACK MUTE を選択し、**OK** ボタンを押し。



3 **A** ノブを回して、変更する。



TRACK MUTE	
SND	トラックのサウンドをミュートします。 ミュート解除するまで発音しません。
PTN	トラックのシーケンスをミュートします。 PAD での演奏はミュートされずに発音します。

# パッド感度を変更する

パッドの Velocity カーブを変更します。

1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 PAD を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 **ⓂA** ノブを回して、変更する。



PAD VELOCITY	
1 ~ 127	Velocity が常に固定値になります。
SOFT	軽く叩く方向け 軽く叩いても強く鳴ります。
LINEAR	パッドを叩く強さに応じて Velocity がリニアに変化します。
HARD	強く叩く方向け

# PAD のトランスポーズを無効にする

パッドのトランスポーズ設定 (→ P.66) を無効にします。

1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 PAD を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 **Ⓚ** ノブを回して、変更する。



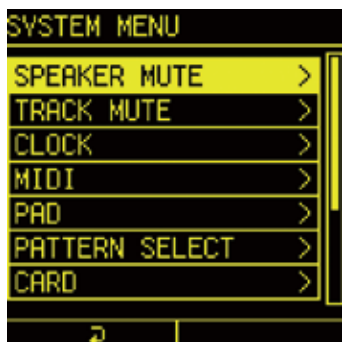
TRANSPPOSE	
ON	CFG ページで設定した TRANSPPOSE が有効になります。
OFF	TRANSPPOSE 設定が無効になります。

# 内蔵スピーカーをミュートする

内蔵スピーカーを常にミュートします。

1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 SPEAKER MUTE を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 **ⓂA** ノブを回して、ON に設定する。



SPEAKER MUTE	
ON	ミュートオン
OFF	ミュートオフ

# カード機能

## カードリーダーモード

サンプリングしたオーディオファイル、Mix Tape ファイル、ユーザーデータのバックアップを保存したい場合などに PC/Mac からアクセスすることができます。

また、オーディオファイルのインポートやファームウェアのアップデート時にも使用します。

- 1 USB ケーブルで PC/Mac と接続する。
- 2 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 3 CARD を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 4 CARD READER を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 5 現在のプロジェクトを保存する場合は YES を選択し、**OK** ボタンを押す。

# カード機能

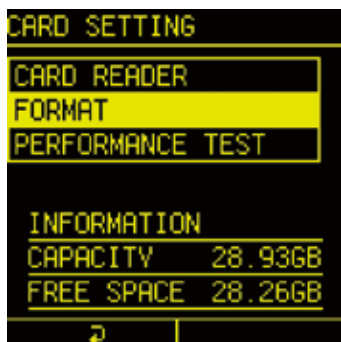
---

## カードをフォーマットする

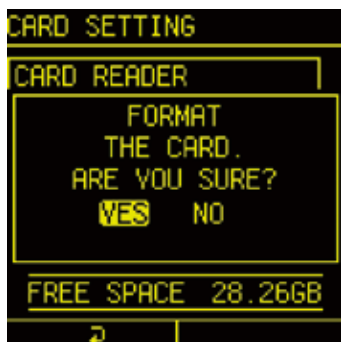
- 1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 CARD を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 3 FORMAT を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 4 YES を選択し、**OK** ボタンを押す。



- ・外部記録カードは 32GB まで対応しています。
  - ・ファイルのフォーマットに数分程度の時間がかかります。
  - ・カード内の全てのデータが消去されます。プリセットデータは PC/Mac へバックアップを取ることをお勧めします。
-

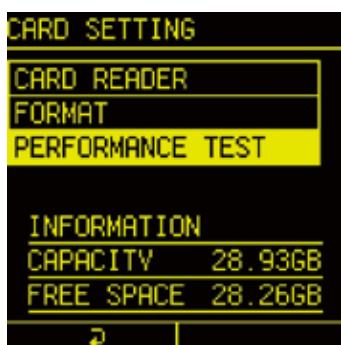
# カード機能

## カードのパフォーマンステスト

お使いのカードのパフォーマンスを測定し、Lofi-12 XT で利用可能か判定します。

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

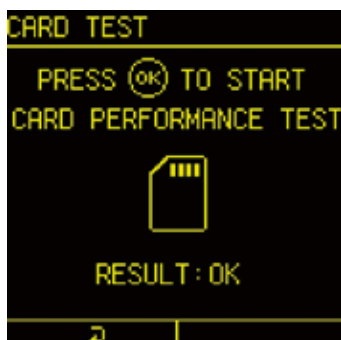
2 CARD を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 PERFORMANCE TEST を選択し、**OK** ボタンを押す。



4 **OK** ボタンを押すとテストが実行されます。



RESULT : OK	Lofi-12 XT で利用可能です
RESULT : NG	Lofi-12 XT では利用できません

# 電源の設定を変更する

## バッテリータイプを変更する

Lofi-12 XT で使用する乾電池の種類を変更することで、上部のバッテリーアイコンが正しく表示されます。

1  +  を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 BATTERY を選択し、 ボタンを押す。



3  A ノブを回して、変更する。



BATTERY TYPE	
Alkaline	アルカリ電池
NiMH	ニッケル水素電池
Lithium	リチウム電池

# 電源の設定を変更する

## AUTO POWER OFF を設定する

自動でシャットダウンする時間を設定します。

1 **func** + **▶ system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 AUTO POWER OFF を選択し、**OK** ボタンを押し。



3 **Ⓜ**A ノブを回して、任意の時間 (20 分～ 6 時間) もしくは AUTO POWER OFF の無効 (Off) に設定する。



# Lofi-12 XT を工場出荷時の状態に初期化する

Lofi-12 XT の本体設定を工場出荷時の状態に戻します。

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 RESET を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 YES を選択し、**OK** ボタンを押す。



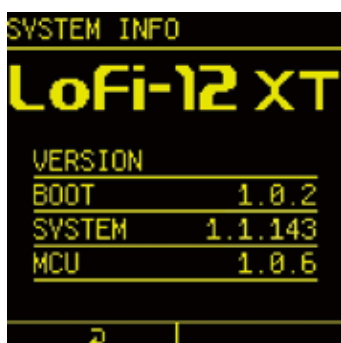
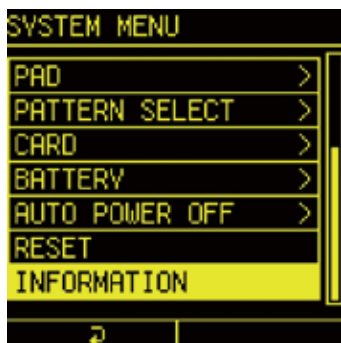
- ・カード内ストレージのデータは消えません。カードをフォーマットするには「カードをフォーマットする」(→ P.162) をご覧ください。
- ・プリセットデータは工場出荷時の状態に戻せません。PC/Macへバックアップを取ることをお勧めします。

# システム情報

---

## システムバージョン情報を確認する

- 1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 INFORMATION を選択し、**OK** ボタンを押す。



# Lofi-12 XTのファームウェアをアップデートする

Lofi-12 XT と PC/Mac を USB で接続し、アップデート用ファイルを Lofi-12 XT で使用中のカード内にコピーすることで、Lofi-12 XT のファームウェアをアップデートすることができます。

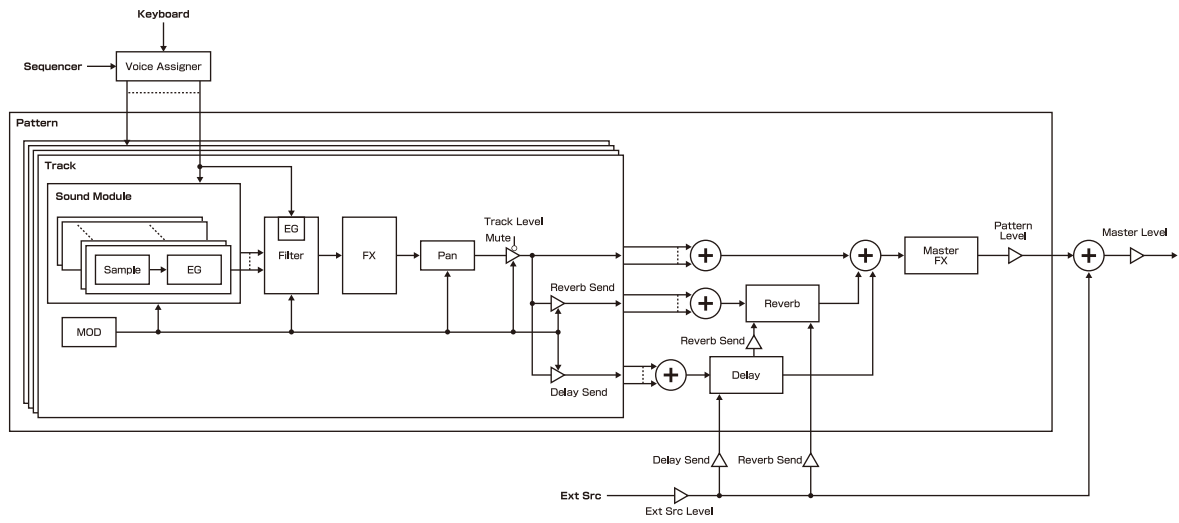
- 1 ダウンロードした最新のファームウェア (.bin) をカードのルートフォルダにコピーする。

名前	種類
 Lofi-12XT	ファイル フォルダー
 Lofi-12 XT.bin	BIN ファイル

- 2 **PAD** を押しながら電源ボタンを長押しして起動する。
- 3 SYSTEM UPDATE を選択し、**OK** ボタンを押す。
- 4 **OK** ボタンを押して、アップデートを開始する。
- 5 完了後、電源ボタンを押してシャットダウンし、再度起動する。

# 付録

## サウンドアーキテクチャ



# ハードウェア仕様

パッド	ベロシティ対応 フルカラー LED パッド x 15
コントローラー	コントロールノブ x 5, 十字キー, 2 ボタンコントロール
ディスプレイ	1.5 インチ OLED ディスプレイ
内蔵マイク	モノラル x 1 (無指向性, 94dB SPL)
内蔵スピーカー	モノラル x 1 (1.5W 40hm)
オーディオ入力	<p>インプット L : LINE、エレキギター / ベース (インピーダンス切替式 : 10kOhm or 1M0hm)          [LINE ゲイン] PAD:-20dB          [Hi-Z ゲイン] LOW: 0dB, NORMAL:+10dB, HI: +20dB</p> <p>インプット R : LINE、ダイナミックマイク          [LINE ゲイン] PAD:-20dB          [Hi-Z ゲイン] LOW: 0dB, NORMAL:+28.8dB, HI: +50dB</p>
オーディオ出力	<p>ステレオ LINE 出力 (最大 +6.5dBV)  <b>※上記ジャックは全て 1/4TRS Phone コネクター</b>          ヘッドホン端子 : 3.5mm ステレオタイプ</p>
USB 端子	<p>micro USB Type-B          [USB オーディオ] USB 2.0 FULL SPEED, 48kHz-16bit          入力 : 2 チャンネル, 出力 : 2 チャンネル]          [マストレージクラス] USB 2.0 HIGH SPEED  <b>※ iPhone の場合、Apple Lightning - USB カメラアダプターが別途必要です。</b></p>
MIDI 端子	<p>MIDI IN (5-Pin DIN type)          MIDI OUT (5-Pin DIN type)</p>
他コネクター	<p>SYNC IN ジャック (3.5mm モノラルミニタイプ)          SYNC OUT ジャック (3.5mm モノラルミニタイプ)          外部記録カードスロット (標準サイズ <b>※ 32GB までのカードに対応</b>)          DC IN 電源コネクター</p>
背面ねじ穴	三脚等マウント用 1/4-20UNC
サイズと重量	<p>横幅 : 147mm          奥行 : 175mm          高さ : 46mm          重量 : 550g (本体のみ)</p>
電源	<p>DC12V 出力電源アダプター (500mA, 内径 : 2.5mm, 外径 : 5.5mm, 極性 : センター +)          Ni-MH 単 3 充電電池またはアルカリ、リチウム単 3 乾電池 x 6          (アルカリ乾電池 使用時間 : およそ 4 時間)  <b>※電池別売り</b></p>
付属品	<p>32GB 外部記憶カード (2,500 超のサンプル収録)          電源アダプター          保証書  <b>※ USB ケーブルや他の接続ケーブル類は別売りです。</b></p>